

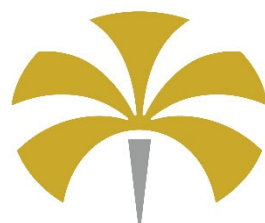
2025年度 学生募集要項

(私費外国人留学生特別選抜)

現代システム科学域 文学部 法学部

経済学部 商学部 理学部 工学部 農学部

獣医学部 看護学部 生活科学部



本学の入学試験は、学部・学域等によって選抜方法が異なりますので、記載内容を熟読して、出願手続、受験等について間違いのないよう注意してください。

学生募集要項で公表した内容に変更が生じる場合は以下の Web サイトで公表しますので、随時確認してください。

○大阪公立大学 入試情報サイト
<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>



2024年7月
大阪公立大学

目 次

大阪公立大学の3つのポリシー	1
〔1〕 募集人員	13
〔2〕 入学者選抜方法等	
1 選抜方法等	15
2 出願資格・出願要件等、選抜方法、利用教科・科目名及び配点等	16
出願に必要な日本留学試験選択科目及び成績	24
3 選抜期日、試験科目・時間割、試験会場	25
〔3〕 出願手続（インターネット出願）	
1 出願期間（日本標準時）	26
2 出願方法	27
3 受験票・受験上の注意の印刷	28
4 入学検定料等の支払方法	28
5 出願書類等	28
6 出願についての注意	30
7 受験上・修学上の配慮について	31
〔4〕 合格者発表	
1 合格者発表について	32
2 合格通知書及び入学手続書類	32
〔5〕 入学手続	
1 入学手続について	32
2 入学許可の取消し	33
〔6〕 学費（入学料・授業料等）	
1 入学料	33
2 授業料	33
3 その他	34
〔7〕 支援制度について	34
〔8〕 その他	
1 個人情報の取扱いについて	34
2 個人別成績の情報提供について	34
3 過去問題について	35
4 注意事項	35
試験会場交通アクセス	36
問合せ先・各キャンパス窓口	37

大阪公立大学の3つのポリシー

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪公立大学では、学士課程教育を通して、現代人として必要な教養を修得し、国際感覚の錬磨によって幅広い視野に立ち、自主的・総合的な判断力、問題解決能力、及び豊かな人間性と社会に積極的に参加する市民的公共性を身に付け、生涯にわたり継続的・発展的に学び成長できる人材を育成する。

このため、学士課程では、各学部等のカリキュラム・ポリシーに準じたカリキュラムを全学共通教育としての「基幹教育」と「専門教育」の2つに区分する。基幹教育は、その企画・運営組織として「国際基幹教育機構」を設置し、外国語の運用能力を含めた国際的なコミュニケーション能力、幅広い視野に立つ自主的・総合的な判断力と問題発見・解決能力を養い、継続的、発展的な学修を支えるためのコアを形成することを目指すとともに、Society 5.0時代などに求められる人材や高等教育の目指すべき姿など大学への社会的要請を踏まえ幅広い知識の獲得を目指す。専門教育では、さらに専門領域の基礎的知識に加え、実践的態度、倫理的態度、創造的な感性や知性という広義の教養を備え、卒業後も学び続ける姿勢を身に付けることができるように高度で専門的な内容を修得することを目指す。各学部等の教育課程では、基幹教育と専門教育を通じて必要な知識・技能・態度・能力等を獲得し、これらを活用し、社会変化に対応できる人材となることを目指す。

全ての学生が（知識・理解）、（技能）、（態度・志向性）、（統合的な学修経験と創造的思考力）の領域で、下記の具体的な学修成果を上げることを目指す。

学士課程で目指す学修成果

（知識・理解）

- 多様性について学び、他文化・異文化に関する知識を尊重・理解することができる。
- 人間と言語・文化、科学と技術、社会と歴史、環境と健康・スポーツについて尊重し、理解を深めることができる。
- それぞれの専門領域の知識と技術を体系的に学び、応用できる。

（技能）

- 日本語や外国語を用い、それぞれに求められる水準で受信、発信、やりとり、仲介を行うことができる。
- 自然や社会現象について数学・統計を用いて分析し、意思決定に活用できる。
- 情報通信技術（ICT）などを用いて多様な情報を収集・分析して適切に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- 情報や知識の複眼的、論理的分析に基づき、批判的思考（クリティカル・シンキング）をし、更に表現することができる。
- 問題を発見するスキルや、解決に必要な情報を収集・分析・整理するスキルを獲得し、その問題の解決に向かうことのできる実践力を身に付ける。

（態度・志向性）

- 自分で考え、良心に従い、社会のルールを尊重して自分の責任で判断し行動できる。
- 他者と協調して行動でき、また、必要に応じて他者に方向性を示し、リーダーシップをとることができる。
- 地域をはじめとする社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる。
- 自ら学ぶ姿勢を身に付け、生涯にわたって進んで学修できる。

（統合的な学修経験と創造的思考力）

- これまでに獲得した知識・技能・実践力等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪公立大学における学士課程教育では、専門分野を学ぶための基礎教育や学問分野の枠を越えた普遍的・基礎的な能力の養成にあると考え、専門分野の学修を通じて学生が知識の獲得だけではなく、前述の「学士課程で目指す学修成果」を達成しているかなど、社会が求める人材養成にも配慮した教育課程編成を行う。

授業科目は、基幹教育科目及び専門科目により構成する。基幹教育科目は主に1年次・2年次において学び、専門科目は2年次以降に学ぶことにより、有機的・体系的な編成を行う。基幹教育科目は以下の方針で編成している。

- 学生として自ら学ぶ姿勢を身に付け、アカデミックスキルの基礎を身に付けるため、1年前期必修科目として「初年次ゼミナール」を導入する。
- 学生の視点に立った学修の系統性や順次性を重視し、各々のカリキュラムの中で中核となる科目を必修科目と位置づけ、学生にとって履修計画が立てやすいものとする。
- 基幹教育と専門教育との接続性を重視し、学士課程全体を通して学修成果が達成できるカリキュラムを構築する。
- 全学的な協力体制の下で、複数の専門分野にまたがる横断的な科目の配置、全学の学生が目指すべき進路や興味関心に応じて自由に選択・履修できる「副専攻」の設置など、学域・学部の枠を越えて幅広く学ぶことができる教育課程の編成を行う。
- 学期は、1年を前期・後期の2学期制とし、15週の授業期間と試験期間を設ける。

また大阪公立大学は、学生の学修成果を適切に把握するため、教育推進本部が定める「大阪公立大学における教育の内部質保証に関する方針」のもと、基幹教育科目と専門教育科目をそれぞれ提供する国際基幹教育機構と各学部（学域）においてアセスメントポリシーとアセスメントリストを定め、複数の評価指標・方法を用いて定期的に学修成果の評価を行う。また、国際基幹教育機構と各学部（学域）において、科目の到達目標の達成状況を基準にした成績評価ガイドラインを定め、各科目における成績評価を実施する。科目の到達目標および評価方法・評価基準はシラバスに明記する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

大阪公立大学は、学士課程を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展や持続可能社会の実現に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れる。

そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施する。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待する。

- (1) 高等学校教育段階において目指す学力の3要素を確認する。
- (2) 本学の基幹教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認する。
- (3) 学域や各学部のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認する。

現代システム科学域

求める学生像

現代社会においては、環境問題、社会・福祉問題、心理的問題が複雑に絡み合い、現在のような豊かな社会が持続可能かどうかは疑問視される状況となっており、これらの複雑な問題を解決し、持続可能な社会を実現するという高い志を持った人材の育成が求められている。本学域では、複数の学問分野を融合的に学びつつPBL (Project-Based-Learning) に取り組むことを通じて、現代社会の諸問題を解決することができる人材を養成することを目指す。

したがって、本学域では、次のような学生を求めている。

(知識・技能)

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、基礎的な知識・技能を有している人

(思考力・判断力・表現力)

- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人

(社会の諸問題への関心)

- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人

知識情報システム学類

知識情報システム学類では、情報学およびその応用分野を学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL (Project-Based-Learning) に取り組むことを通じて、現代社会におけるさまざまな課題を解決するために情報システム開発・活用することができる人材を養成する。

したがって、知識情報システム学類では、次のような学生を求めている。

(知識・技能)

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、知識情報システム学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人

(思考力・判断力・表現力)

- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人

(社会の諸問題への関心)

- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人

環境社会システム学類

環境社会システム学類では、自然科学、人文・社会科学、人間科学の融合領域を学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL (Project-Based-Learning) に取り組むことを通じて、自然環境、社会環境、環境哲学・政策の課題を総合的に解決できる人材を養成する。

したがって環境社会システム学類では、次のような学生を求めている。

(知識・技能)

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、環境社会システム学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人

(思考力・判断力・表現力)

- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人

(社会の諸問題への関心)

- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人

教育福祉学類

教育福祉学類では、社会福祉学、保育学、教育学、ジェンダー論及びその関連分野を学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL (Project-Based-Learning) に取り組むことを通じて、教育福祉に関わるさまざまな課題を総合的に解決できる人材を養成する。

したがって、教育福祉学類では次のような学生を求めている。

(知識・技能)

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、教育福祉学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人

(思考力・判断力・表現力)

- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人

(社会の諸問題への関心)

- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人

心理学類

実験心理学と臨床心理学を統合的に学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL (Project-Based-Learning) に取り組むことを通して、ヒトの心理的問題を解決できる人材を養成する。

したがって心理学類では、次のような学生を求めている。

(知識・技能)

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、心理学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人

(思考力・判断力・表現力)

- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人

(社会の諸問題への関心)

- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人

入学者選抜の基本方針

上記の評価方法は以下のとおりである。

【私費外国人留学生特別選抜】

(知識・技能) 成績証明書、個別学力検査を用いて評価する。

(思考力・判断力・表現力) 個別学力検査、面接を用いて評価する。

(社会の諸問題への関心) 面接、志望理由書を用いて評価する。

文学部

求める学生像

文学部は、予測不可能な時代、高度知識基盤社会、グローバル社会にあつて、自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を尊重し、多様な人々と協働しながら、豊かで持続可能な社会の創り手となる人の育成を目指す。

具体的には、(1)人文科学・行動科学の方法や考え方を通して人間、社会、文化、言語の諸事象について深く考えることができ、(2)コミュニケーション能力を身につけ、国際的、歴史的視野から問題解決をはかる能力を備え、また(3)教育機関、文化行政、出版・ジャーナリズム、国際交流、情報サービス産業などの第一線で活躍できる専門職業人を育成することを目標とする。

以上の目標に対応して、文学部では、次のような学生を求める。

- 1 自らの将来像を自覚的に形成し、それに向けて努力し具体的に取り組む意欲を持っている人
- 2 学修のための基礎的能力を持ち、以下のような学問的関心を有する人
 - ・人間の思考と社会・文化の生成発展について考えてみたい人
 - ・人間行動の原理と社会のしくみについて考えてみたい人
 - ・さまざまな言語や文学・芸術について考えてみたい人
 - ・さまざまな文化的営みを社会のなかで活かす方法を考えてみたい人
 - ・論理的思考を鍛え新しいものの見方を求めようとする人
- 3 学部・学科・コースの目的や教育内容を理解し、自らの将来像と関連させて考えている人
- 4 入学後に上記の能力や関心を活かして学部・学科・コースの教育目標を深く理解し、創造的に学べる発展可能性を持つ人

入学者選抜の基本方針

文学部では、一般選抜(前期日程・後期日程)と特別選抜(国際バカロレア・帰国生徒・私費外国人留学生)に区分して入学者選抜を実施し、学修成果や能力・適性を、以下のような教科・科目等で評価する。

【私費外国人留学生特別選抜】

日本留学試験、個別学力検査(外国語・国語・作文)、口述試験と出願者調査書等の出願書類を評価対象とする。日本留学試験と個別学力検査では、学力の3要素のうち知識・技能と思考力・判断力・表現力を評価するが、そのうち日本留学試験では日本語能力と基礎学力を評価する。また、口述試験では、学ぶ意欲と文学部での学修に十分に対応できる知識・技能と思考力・判断力・表現力を、それぞれ確認する。さらに、出願者調査書等も材料として主体性・多様性・協働性についても評価し、以上の各評価を総合して選抜を行う。

法学部

求める学生像

今後ますます複雑化する日本社会・国際社会においては、その健全な発展と安定に大いに寄与する人材を育成することが求められている。そこで、大阪公立大学法学部は、約70年にわたって法学政治学の研究教育機関として重要な役割を果たしてきた大阪市立大学法学部の伝統を継承しつつ、社会科学的な素養と法的思考力（リーガル・マインド）を身に付け、人権感覚豊かで有能な民主主義社会の担い手となりうる人材を養成するという教育の理念・目的のもと、幅広い学問体系を擁する総合大学として優れた人材を育成し、民主主義社会において中核を担う人材を社会の多方面に供給する。

以上を前提として、大阪公立大学法学部は、次のような学生を求める。

- 1 新しい問題に果敢に取り組む知的好奇心を持つ人
- 2 自分を相対化するための想像力と豊かな人間性を持つ人
- 3 相手の意見を的確に理解し、自分の意見を論理的に構成して、正確に表現・文章化する能力を持つ人
- 4 法学・政治学の専門的知識を身につけるために必要な一般教養を有する人

入学者選抜の基本方針

大阪公立大学法学部のディプロマ・ポリシーおよびアドミッション・ポリシーに則り、次の方法および体制により入学者選抜を行う。

【私費外国人留学生特別選抜】

日本留学試験では日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査等では法学部での勉学に十分に対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの獲得水準と学ぶ意欲をそれぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価する。

経済学部

求める学生像

本学部は、「経済学の素養、データ処理能力、異文化の学習・咀嚼能力、他者との協働の能力、豊かな構想力を活かしながら、グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取的に提案することのできる人」を育てるという教育目標にもとづき、高等学校教育段階において人文・社会・自然科学を均衡のとれた仕方で学修し、グローバルな経済・社会が直面している問題に関心を抱き、他者との意思疎通や共同の事業に取り組むことのできる人を受け入れる。

入学者選抜の基本方針

【私費外国人留学生特別選抜】

日本留学試験では日本語能力と基礎学力を、個別学力検査等では経済学部での学修に十分に対応できる知識とそれを活かした思考力・判断力・表現力などの獲得水準、ならびに学ぶ意欲を、それぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価する。

商学部

求める学生像

商学部では、商学部での学びに必要な基本的な知識と能力、外国語能力を身につけ、企業や社会について旺盛な探求心と世界的視野と批判的精神を持って学修し、その成果をもって経済社会の発展と持続可能な社会の実現に積極的に貢献しようとする意欲と能力があり、人間性と将来性が豊かな学生を求めている。

また、商学部の掲げる人材養成の方針を理解し、自分の将来に活かす努力を惜しまない学生を求めている。

商学科

商学部で定めているアドミッション・ポリシーにもとづいて商学科では次のような関心を持つ学生を求めている。

- ・企業が抱える経営並びに国際経営上の諸問題の構造やその解決に関心を持っている人
- ・金融・流通の諸問題の構造やその解決に関心を持っている人
- ・社会における会計の役割に関心を持っている人

公共経営学科

商学部で定めているアドミッション・ポリシーにもとづいて公共経営学科では次のような関心を持つ学生を求めている。

- ・企業や経済の地域性や社会性に関心を持っている人
- ・地方公共団体などの公的機関や非営利組織の仕組みや役割に関心を持っている人

入学者選抜の基本方針

【私費外国人留学生特別選抜】

日本留学試験で日本語能力及び基礎学力、個別学力検査等では学ぶ意欲と商学部での学修に十分に対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、成績証明書と合わせて総合的に評価をおこなう。

理学部

求める学生像

中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」は、21世紀を「知識基盤社会」の時代と位置づけ、「人々の知的活動・創造力が最大の資源である我が国にとって、優れた人材の育成と科学技術の振興は不可欠」と提言している。国際競争が激化するこれからの社会において、科学技術の実力は、国力を左右すると言っても過言ではない。この答申を踏まえて、本学部は総合的理学部とし、研究大学を目指す本学の理系の教育・研究の中核を担う。世界第一線の研究成果を出し人類の知の最前線を切り拓くとともに、その研究活動を学部教育に還元し、次世代の我が国を担う優れた人材の育成・輩出を行うことを目的とする。本学部を卒業し関連領域における研究者や技術者を目指すためには、柔軟な発想と論理的思考にもとづく課題発見能力と問題解決能力が必要である。

したがって、本学部では次のような学生を求めている。

- 1 数学や自然現象に対する強い関心と理解があり、勉学意欲に溢れる人
- 2 論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、地域社会への貢献をめざそうとする人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

数学科

本学部の求める学生像を受けて、本学科では、数学の深い専門知識の修得と、それに基づいた洞察力や論理的思考能力の涵養を目的として教育を行う。世界レベルの数学の研究に接することを通して、洞察力、論理的思考能力、コミュニケーション能力を鍛錬し、問題解決能力を備えた専門職業人、中学校・高等学校の数学教員、及び大学院進学により更なる数学の研究を志す人を養成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 数学への好奇心や探究心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人
- 2 数学を理解するために必要な論理的思考力を向上させようと努力する人
- 3 自ら進んで数学を学び、ねばり強く考えて問題解決を図ろうとする人
- 4 教員や他の学生との議論を通じて、論理的なコミュニケーションに努める人
- 5 数学を通じて社会貢献を目指す人

物理学科

本学科では、未解決の問題に論理的思考と柔軟性を持って挑む創造性豊かな人材を養成するという社会的要請に応えるために、幅広い教養教育、物理学の理論・実験の両面からの教育に、最先端の研究を組み合わせた系統的なカリキュラムを提供する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 自然現象への好奇心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人
- 2 物理学を学ぶための基礎的能力、自然の法則性を解明するために必要な論理的な思考力、問題解決に向けての実行力、さらに自らの知識と考えを表現できる能力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、物理学に関係する分野で社会に貢献したい人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

化学科

化学は、物質の成り立ちと性質を原子・分子レベルで理解する学問である。化学の知識と技術は、医薬品・化成品、環境にやさしい機能性素材・電池などの私たちの生活と暮らしに役立つ数多くの有用な物質を生み出す、基幹学問として現代社会に必要な不可欠なものとなっている。本学科では、本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、化学の原理を理解し、化学を实践するために必要な基礎学力を身につけ、新しい化学を創発するための化学の知識と柔軟な思考力を備えた人材を育成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 化学実験や理論を含む化学の幅広い分野に興味をもち、勉学意欲に溢れる人
- 2 化学に関する知識を社会におけるさまざまな問題や課題の解決に役立て、社会の発展に貢献したいと考えている人
- 3 化学を学び、その活躍の場を地域社会や世界に広げていきたいと考えている人
- 4 他の科学分野や広く社会とつながりを持ち、社会の発展のための共生共存の道を探ることができる人
- 5 科学倫理を遵守し、研究を実践できる人

生物学科

本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、本学科では、生物学に関する基本原理の理解に必要な基礎学力を備え、柔軟な発想と論理的思考にもとづいて課題を発見し、それを解決する能力を持つ学生を育成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 生物及び生命現象に対する強い関心があり、勉学意欲に溢れる人
- 2 生物学に関する論理的な思考力、自ら学ぶ探求心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野を持ちつつ、生物学に関わる専門知識に基づいて地域社会への貢献をめざそうとする人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人
- 6 自らの考えを人に伝える能力を持つ人

地球学科

幅広い自然科学及び科学技術の知識と、これらを地球の探究に展開できる能力、またグローバルな視点に基づき多面的に思考できる能力が、自然環境や地球環境問題を理解する上で重要である。本学科では、自然環境や地球環境問題を多面的にまた時系列的に捉えるための理論的手法・実験的手法、野外での調査技術、得た知見を正確に伝える能力の修養を通じて、広く社会に貢献できる人材、及び大学院進学により更なる研究を志す人材を育成・輩出することを目的とする。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 地球への好奇心や探究心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人
- 2 地球の法則性を解明するために必要な論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、地球学に関係する分野で社会に貢献したい人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

生物化学科

本学科では、生命現象のメカニズムを分子論的に理解する学問である生物化学の関連領域で活躍する研究者や技術者などの人材の育成を目指す。そして、これらの人材に求められる柔軟な発想にもとづく課題発見能力と問題解決能力を身につけるために必要な講義、演習、実習からなるカリキュラムを提供する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 生命現象のメカニズムを分子論的に解明することに対して強い関心と理解があり、勉学意欲に溢れる人
- 2 生命現象のメカニズムを分子論的に解明することに対して論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、地域社会への貢献をめざそうとする人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

入学者選抜の基本方針

【私費外国人留学生特別選抜】

日本留学試験と個別学力検査により、日本語能力及び理学の学修・研究に必要な数学・理科・英語に関する高い学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していることを評価する。口述試験・出願書類により、理学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有していることを評価する。

工学部

求める学生像

工学部は、「自由と進取の気風、新しい文化と産業の創造、世界雄飛」をモットーに、真理の探究と知の創造を重視し、自然環境と調和する科学技術の進展を図り、持続可能な社会の発展と文化の創造に貢献することを目指す。

このために、人と社会と自然に対する広い視野と深い知識をもち、豊かな人間性と高い倫理観および専門能力を兼ね備え、工学における重要な課題を主体的に認識して問題の解決に努め、社会の発展、福祉の向上および文化の創造に貢献できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、工学部では、学問を深く継続して学ぶ意欲に富み、人や自然を愛し、人類の持続可能な発展と世界平和に関わる未知の問題に果敢に立ち向かい、地球環境を守るという気概をもつ、次のような学生を求める。

- 1 工学を学ぶことに対する目的意識を明確にもち、社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 自由闊達で何事にも興味をもち、主体的、積極的に学び、自ら新たな課題を見つけ研究をしていこうとする人
- 3 工学的諸問題への強い関心と、問題解決への目標意識をもっている人

以上のような、工学部の教育理念・目的にふさわしい次の1～4の能力や適性を身に付けた学生を選抜する。

- 1 高等学校における教科・科目を広く学習し、高い基礎学力を有している人
- 2 工学における諸課題に取り組むための基礎的な数学、物理学、化学の素養を身に付けている人
- 3 英文を読んで理解し、書いて表現するための基礎的な能力を身に付けている人
- 4 論理的に考える素養を身に付けている人

航空宇宙工学科

持続可能な社会の発展に貢献するためには、地球環境に調和した、人類に役立つ新しい航空宇宙システムを創出していくことが必要である。そのために航空宇宙工学科では、複雑化、多様化、複合化する現代社会の工学システムの中で、特に、高機能化、知能化、システム化が求められている航空宇宙システムを確立するために、基礎から最先端までの幅広い視野にたつて航空宇宙工学の教育・研究を行うことにより、豊かな人間性と高い倫理観、論理的な思考力を併せ持つ活力のある技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、航空宇宙工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。

- 1 航空宇宙工学の基礎から応用に対する強い関心があり、持続可能な社会の発展に寄与しようとする意欲を持っている人
- 2 新しい航空宇宙システムを創出するための論理的な思考力と柔軟な創造力の獲得をめざして、向学心に溢れる人
- 3 航空宇宙工学に関する専門知識と技術を基に、国際的視野をもって豊かな社会の構築に貢献できる人
- 4 高い倫理観を持ち、航空宇宙工学の専門知識と技術を利用して社会の諸問題の解決に意欲的に取り組める人

海洋システム工学科

私たちの住む地球は、地圏、水圏、気圏とそこで生きる生物圏から構成されるひとつのシステムととらえることができる。いま、この地球システムは生物圏での人間活動によって大きな影響を受け、さまざまな障害が起こることが懸念されている。海洋システム工学科では、地球システムの中の水圏、特に海の環境という自然を理解し、その自然を壊すことなく海を利用し豊かな人間社会に貢献するために、海という自然システムと海を利用する人工システムを統合する学問の構築を目指す。

海洋における人間活動に関わるすべての技術は、人間および環境との調和の上にあるべきとの基本理念のもとに、海洋における各種の人工システムに関する研究、開発、設計、生産、運用を担う人材、および海洋環境の計測、保全、創造に寄与できる人材を育成する。

この教育理念に基づいて、地球システムの中の海洋システムを理解するために、海洋環境およびその中で使用される人工システムに関する基礎学力をつけ、さらに専門知識を習得するとともに、総合的に物事を考える能力を育成すること、また、社会的倫理観を養い、国際社会においても活躍できるための自己表現力をつけ、幅広い分野で活躍できる創造性豊かな有能な人材を社会に送り出すことを目指す。

したがって、海洋システム工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加えて、一般選抜では、次のような学生を求める。

- 1 海洋システム工学に対する強い関心があり、この分野で、人と調和した豊かな社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 論理的な思考力と豊かな創造力の獲得をめざし、学習意欲を継続できる人
- 3 高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人

海洋システム工学科では、多様な人材を選抜するために総合型選抜を実施する。総合型選抜においては、工学部のアドミッション・ポリシーに加えて、次のような学生を求める。

- 1 海洋システム工学分野において先駆的に活動する意欲がある人
- 2 海洋システム工学で扱う、海という自然と船舶や海洋構造物などの海で使われる人工物に強い興味や関心がある人
- 3 高い倫理観を持ち自身の学業・生活に対して責任感のある人
- 4 海洋システム工学における諸課題に取り組むための基礎的な数学の素養、物理学の素養を身につけている人

機械工学科

持続的発展が可能な社会を構築していくことが求められる中で、人・環境と共存・共生する機械技術、機械システムの確立が必要不可欠となっている。そのために機械工学科では、機械工学を中心とした幅広い知識、技能と、豊かな人間性、倫理観を持ち、大阪から地球規模までの機械工学における重要な課題を、材料からシステム、環境、エネルギーまで、原子・分子レベルのナノ・マイクロスケールから社会のマクロスケールまで多角的、俯瞰的な視点で認識・考察して、主体的に克服・解決法を発想し、実践する人材を育成することを目標とする。

したがって、機械工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加えて、次のような学生を求める。

- 1 機械工学の幅広い技術・学術に強い関心があり、社会の持続可能な発展に貢献する意欲を持つ人
- 2 機械工学に関する専門知識と技術、論理的な思考力、豊かな創造力の獲得を目指し、勉学意欲を持つ人
- 3 機械工学に関する専門知識と技術をもとに、国際的な視野で豊かな社会の構築に貢献する意欲を持つ人
- 4 高い倫理観を持ち、機械工学に関する専門知識と技術を利用して、社会の諸問題の解決に意欲的に取り組む人

建築学科

成熟期を迎えた社会の諸課題を的確に把握し、持続可能な生活空間を実現するためには、工学から自然科学、人文社会科学に至るまで、幅広い領域の知識・技能を統合する必要がある。

建築学科は芸術・学術・技術に立脚した「建築総合教育」と、学生の個性を育てる「少人数教育」によって、社会の諸課題に対し専門的な知識・技能を統合し、持続可能な生活空間の実現にむけて主体的に行動できるような、柔軟な発想力と論理的な思考力を備えたデザイナーやエンジニアの育成を目指す。

したがって建築学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え次のような学生を求めている。

- 1 建築という形のあるものを実現するための芸術・学術・技術に幅広く興味のもてる人
- 2 立体的な思考にもとづく空間やものづくりに主体的に取り組める人
- 3 自分の意見を他人に伝えるコミュニケーションに意欲のある人

都市学科

社会経済情勢、環境問題、災害対策、国際化などにより都市のあるべき姿は常に変化してきた。都市固有の歴史と文化を継承・発展させつつ、環境への負荷を低減し、人間活動と自然環境が調和した、豊かでかつ災害などの外的インパクトにも強く柔軟に対応できる、安全・安心で機能的な都市、すなわち「持続可能都市」の実現が強く求められている。

都市学科では、この持続可能都市を探求し、またその構築および維持管理に係る技術について学び、それらの最先端課題について研究する。都市学科の教育研究対象は、人間社会の介在する公共空間であり、恵みと破壊をもたらす自然現象でもある。また、その課題は地域性ととともに普遍性を有し、その現象は微生物スケールから地球規模のスケールにいたるまで大きな幅がある。そのため、都市学科では工学部のアドミッション・ポリシーに加えて、次のような学生を求める。

- 1 都市の成り立ちや機能、現状の課題について日ごろから興味・関心があり、社会全体の幸福に貢献できる人
- 2 数学や理科などの自然科学分野の基礎学力を有し、それらの工学的応用について関心がある人
- 3 地理や歴史、公民などの社会の基礎学力を有し、文明の汎用性と文化の固有性の双方を尊重し、学ぶことができる人
- 4 継続的に外国語を学ぶことができる人。また、入学後に日本語または英語による講義が受講可能であり、外国語資料の読解および英語での交流・発表に意欲のある人
- 5 都市に関わる問題について、対立する意見を公正に評価し、複合的な問題について多面的にとらえ、科学的根拠に基づきながら自身の意見を述べることができる人

電子物理工学科

グローバル社会の持続可能な発展には、情報通信、エネルギー、交通等、多様な技術分野の進歩が不可欠である。これらに共通する基盤技術である、電子デバイスのさらなる高度化・高機能化、新規創成が様々な産業分野において求められている。そのような要求に応えるには、確固たる物理的基礎に立脚した電子技術に基づく、より独創的な発想が必要である。電子物理工学科は、このような社会的要請に応えるために、従来の電子工学の範疇を超える、電子材料、電子物性に力点を置いた教育を行うことで、幅広い物理的視野と電子技術の素養をもち、高い創造性を発揮できる人材を育成することを目標とする。

したがって、電子物理工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え次のような学生を求める。

- 1 物理学や電気・電子工学に対する強い関心があり、専門知識と技術を体系的に学び、それを幅広い工学に応用することで社会の発展に貢献する意欲をもつ人
- 2 論理的な思考力と豊かな想像力の獲得を目指し、勉学意欲に溢れる人
- 3 物質がもつ電気、磁気、光などの物理学的性質の解明と新規機能の開拓、実験的また理論的解明などの幅広い電子・物理の科学技術に強い興味を持ち、主体的かつ積極的に学修・研究する意欲に溢れる人
- 4 外国語能力に優れ、国際的視野をもって新たな課題を見出し、その解決に積極的に挑戦する意欲をもつ人
- 5 高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人

情報工学科

高度にグローバル化・ネットワーク化された情報化社会の発展に貢献するためには、情報と通信の劇的な変化に柔軟に対応していくことが必要である。そのために情報工学科では、情報の伝送・収集・蓄積から分析・活用に至るプロセスの理解を通して、基礎から最先端までの幅広い視野にたつて情報工学の教育・研究を行うことにより、豊かな人間性と高い倫理観、論理的な思考力を併せ持つ活力のある情報技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、情報工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。

- 1 情報工学の基礎から応用について強い関心があり、グローバル化・ネットワーク化された情報化社会の発展に寄与しようとする意欲を持っている人
- 2 新しい情報通信技術を創出するための論理的な思考力と柔軟な創造力の獲得をめざして、向学心に溢れる人
- 3 情報工学に関する専門知識と技術を基に、国際的視野をもって豊かな社会の構築に貢献できる人
- 4 高い倫理観を持ち、情報技術を利用して社会の諸問題の解決に意欲的に取り組める人

電気電子システム工学科

今日の社会はグローバル化し、高度にネットワーク化された情報化社会へと革新的に移行し続けている。電気電子システム工学科では、このような社会構造の劇的な変化に柔軟に対応し、豊かで快適な日常生活を支え、発展させていくため、電気工学、通信工学、システム工学を基礎とした最先端の電気電子システム工学に関する教育研究を行うことにより、幅広い視野と豊かな人間性、深い教養と厳格な倫理観をもった国際的に活躍できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、電気電子システム工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。

- 1 電気電子システム工学に対する強い関心があり、専門知識と技術を体系的に学び、応用し、社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 電気電子システム工学に対する論理的な思考力と豊かな創造力の獲得をめざし、勉学意欲に溢れる人

応用化学科

持続可能な社会の発展に貢献するためには、地球環境に調和した、人類に役立つ新しい化学物質を創出していくことが必要である。そのために応用化学科では、物質の構造、性質、反応を原子・分子レベルから理解することを通して、基礎から最先端までの幅広い視野に立つて化学の教育・研究を行うことにより、豊かな人間性と高い倫理観、グローバルな視野を併せ持ち、技術革新にも適応することができる化学技術者・研究者を育てることを目標としている。

したがって、応用化学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求めている。

- 1 化学の基礎と応用について強い関心があり、持続可能な社会の発展に貢献する意欲を持っている人
- 2 新しい物質や化学技術を創造するための論理的な思考力と柔軟な創造力の獲得をめざして、向学心に溢れる人
- 3 化学に関する専門知識と技術を基に、国際的視野をもって地球環境に調和した豊かな社会の構築に貢献できる人
- 4 高い倫理観を持ち、化学技術を利用して社会の諸問題の解決に意欲的に取り組める人

化学工学科

人類社会の持続的発展のためには、地球環境に配慮し、限りある資源の有効かつ循環的な利用が不可欠である。そのために化学工学科では、原料から化学工業製品を生産するプロセスの開発、設計および操作に関する基礎理論とその応用、すなわち、化学だけでなく生物学や物理学等にわたる広領域化、理論の高度化、精密化に関する教育・研究を行うことにより、地球環境と調和した豊かな社会の構築に貢献できる優れた技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、化学工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。

- 1 新しい物質の科学と技術に対する強い関心があり、地球環境と調和した豊かな社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 論理的な思考力と豊かな創造力の獲得をめざし、勉学意欲に溢れる人
- 3 外国語能力に優れ、国際的視野をもって社会に貢献することをめざす人
- 4 高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人
- 5 高等学校における教科・科目を広く学習し、高い基礎学力を有している人
- 6 化学工学における諸課題に取り組むための基礎的な数学の素養、物理学の素養および化学の素養を身につけている人
- 7 英文を読んで理解し、書いて表現するための基礎的な能力を身につけている人
- 8 化学工学科のディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーを理解し自身の将来と結びつけて考える事ができる人

マテリアル工学科

現代の文明を象徴する様々な機器は、目的に応じたいくつもの「材料」によって構成されている。すなわち、時代の進歩には新しい材料の設計と開発が求められている。マテリアル工学科では、豊かな社会を築くため、最先端の材料に関する教育研究を行うことにより、幅広い視野と豊かな人間性、深い教養と厳格な倫理観をもった国際的に活躍できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、マテリアル工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求めている。

- 1 科学・技術の基盤であるマテリアル工学に強い関心があり、地球環境と調和した豊かな社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 論理的な思考力と豊かな創造力の獲得をめざし、勉学意欲に溢れる人
- 3 外国語能力に優れ、国際的視野をもって社会に貢献することを目指す人
- 4 高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人

化学バイオ工学科

化学バイオ工学科では、物質・生命およびその変化を原子・分子レベルや遺伝子・細胞レベルで理解できる基本的考え方を身につけ、化学・バイオに関わる基礎理論と技術の実際を学ぶ。さらに、化学・バイオの先端領域で活躍し、かつ技術者としての責任感・倫理観を身につけ、広く社会に貢献できる人材を育成することを目指す。そのため、本学科ではいずれの選抜方法においても、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような人を求める。

- 1 化学・バイオについての基礎知識を理解できる能力を有し、意欲的に勉学に取り組める人
- 2 化学現象や生命現象に対する興味と探究心が強く、新技術の開発に熱意を有する人
- 3 実験や自然観察が好きな人
- 4 論理的な記述、論理的な発表力など、研究能力とともにコミュニケーション能力を高める意欲を有する人
- 5 幅広い教養の習得に熱意をもち、倫理観をもって行動できる人

入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、工学部のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

【私費外国人留学生特別選抜】

各学科に必要な素養を有していること、大学で学修するための基礎学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）ならびに日本語能力を有していることを、日本留学試験、口述試験・面接、出願書類によって評価する。また、数学、理科（物理・化学）、英語の高い学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していることを、個別学力検査の数学、理科（物理・化学）、英語および日本留学試験の数学、理科によって評価する。さらに、工学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）を有していることを、出願書類によって評価する。

農学部

求める学生像

今日、人類は国内外の様々な課題、すなわち、エネルギー、環境、食料、健康などに関する諸問題に直面している。農学は生物の機能と生命現象の解明や応用に加えて、自然環境、自然現象の理解、また、それらの調和と持続的な利用など多岐にわたる学問分野を内包しており、人類が抱えている諸問題解決への貢献が期待されている。そこで、農学部では広範な農学に関する専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、農学部では次のような学生を求めている。

- 1 農学について学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人
- 2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
- 3 幅広い興味を持ち、自ら進んで学ぶ探求心を持っている人

以上に基づき、各学科が求める能力や適性を持つ学生を選抜する。

応用生物科学科

応用生物科学科は、生物の多様な潜在能力を明らかにし、その成果を人類の生活に役立てるための幅広い教育を行う。このような教育を通して、生物科学を活用できる専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、応用生物科学科では次のような学生を求めている。

- 1 生物科学を持続可能な社会の構築へ役立てることにに対する明確な目的意識を持ち、その学びのための基礎的知識を持っている人
- 2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
- 3 他の専門分野とも柔軟に連携しながら、健全な社会の発展に貢献したいと考えている人

以上に基づき、次の1～5の能力や適性を持つ学生を選抜する。

- 1 物理、化学、生物のうち少なくとも2科目について深く学び、高い学力を有すること
- 2 データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること
- 3 学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容発表のために必要な英語や国語の基礎学力と論理的な思考力を備えていること

- 4 その他の教科・科目について幅広い知識を有すること
- 5 自ら積極的に考えて表現することができ、かつ多様な分野に興味と関心を持ち、課題の発見とその解決のために他者と協働して行動できること

生命機能化学科

生命機能化学科は、化学を基盤とした生命現象の解明と生物資源の利用に関する幅広い教育を行う。このような教育を通して、広範なバイオサイエンス・バイオテクノロジーに関する専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、生命機能化学科では次のような学生を求めている。

- 1 バイオサイエンス・バイオテクノロジーについて学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、そのための基礎的知識を持っている人
- 2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
- 3 他の専門分野とも柔軟に連携しながら、社会の持続的発展に貢献したいと考えている人

以上に基づき、次の1～5の能力や適性を持つ学生を選抜する。

- 1 物理、化学、生物のうち少なくとも2科目について深く学び、高い学力を有すること
- 2 データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること
- 3 学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容発表のために必要な英語や国語の基礎学力と論理的な思考力を備えていること
- 4 その他の教科・科目について幅広い知識を有すること
- 5 自ら積極的に考えて表現することができ、かつ多様な分野に興味と関心を持ち、課題の発見とその解決のために他者と協働して行動できること

緑地環境科学科

緑地環境科学科は、生命の基盤となる農地や自然地、生活の基盤となる都市の緑地について、その保全・創成に関する幅広い教育を行う。このような教育を通して、緑地環境の保全と創成についての専門的な知識や技術とともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、緑地環境科学科では次のような学生を求めている。

- 1 緑地環境の保全と創成について学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人
- 2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
- 3 幅広い興味をもち、自ら進んで学ぶ探求心を持っている人

以上に基づき、次の1～5の能力や適性をもつ学生を選抜する。

- 1 物理、化学、生物のいずれかについて深く学び、高い学力を有すること
- 2 データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること
- 3 学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容の発表のための英語や国語の基礎学力を身に付けていること
- 4 その他の教科・科目について幅広い知識を有すること
- 5 自ら進んで学ぶための主体性を有し、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する能力と学内外の社会的な活動に参加しうる多様性・協働性を備えていること

入学者選抜の基本方針

【私費外国人留学生特別選抜】

応用生物科学科

大学で学修するための基礎学力を有していることを、日本留学試験と最終出身学校の成績証明書によって評価する。物理、化学、生物のうち少なくとも2科目について深く学んでいることを、日本留学試験の理科によって評価する。数学の基礎学力を備えていることを、日本留学試験の数学によって評価する。英語や国語の基礎学力に加えて、柔軟な思考力・判断力・表現力を有していること、及び様々な課題について他者と協働的に取り組む姿勢を備えていることを、TOEFLの成績、日本留学試験の日本語、個別学力検査の小論文、口述試験・面接で評価する。

生命機能化学科

大学で学修するための基礎学力を有していることを、日本留学試験と最終出身学校の成績証明書によって評価する。物理、化学、生物のうち少なくとも2科目について深く学んでいることを、日本留学試験の理科等によって評価する。数学の基礎学力を備えていることを、日本留学試験の数学によって評価する。英語や国語の基礎学力に加えて、柔軟な思考力・判断力・表現力を有していること、及び様々な課題について他者と協働的に取り組む姿勢を備えていることを、TOEFLの成績、日本留学試験の日本語、個別学力検査の小論文、口述試験・面接で評価する。

緑地環境科学科

大学で学修するための基礎学力を有していることを、日本留学試験、最終出身学校の成績証明書によって評価する。物理、化学、生物のいずれかについて深く学んでいることを、日本留学試験の理科によって評価する。数学の基礎学力を有していることを、日本留学試験の数学によって評価する。英語や国語の基礎学力に加えて、論理的な思考力、判断力及び表現力を有していること、及び学修のための主体性、社会活動のための多様性・協働性を有していることを、TOEFLの成績、日本留学試験の日本語、個別学力検査の小論文、口述試験・面接によって評価する。

獣医学部

求める学生像

本学部は、本教育課程を卒業するためには、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学と臨床獣医学の各科目群の習得を課すと共に、加えて獣医師としての実践能力と動物生命科学者としての研究能力を醸成させる教育を行う。このような教育を通して、単なる動物の専門家たる獣医師ではなく、動物生命科学の専門性を有しつつも、国際社会が抱える人文科学分野、生命科学分野の諸問題の解決能力をも有する人材の育成を目指す。

したがって、本学部・学科では、次のような学生を求める。

- 1 動物に対する先端医療、人間と動物の共生、国内及び国際的に問題となっている感染症、及び安全な食料の安定供給について学ぶことに対し明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人
- 2 生物学、科学全般に幅広い興味を持ち、論理的な思考力・判断力・表現力と自ら進んで学ぶ探求心を持っている人以上に基づき、次の1～3の能力や適性をもつ学生を選抜する。
 - 1 大学入学共通テストを課すことによって、高等学校教育において習得すべき科目の内容を広く学習し、高い基礎学力を有していることを確認する。
 - 2 個別学力検査によって、数学、英語、生物学、物理学、化学に関する思考力・判断力・表現力を確認する。
 - 3 特別選抜では、調査書、推薦書、志望理由書、活動報告書、英語4技能試験成績証明書、面接、小論文等により、獣医師としての適性、論理的な思考力、科学全般への幅広い興味や自ら進んで学ぶ探求心、さらに多様な人々と協働して学ぶ態度や国際的な視野を持っているかを確認する。

入学者選抜の基本方針

学生の選抜方法は一般選抜の前期日程に加えて4種類の特別選抜を用意し、多様な人材の受け入れを目指す。一般選抜前期日程では高い基礎学力と論理的な思考力・判断力・表現力を有する学生を求める。特別選抜の学校推薦型選抜では、前述の基礎学力等に加えて、獣医学への関心と学習意欲が高く、世界の獣医療、獣医学において指導的役割を担う獣医師、獣医学研究者になろうという志を持つ学生を受け入れる。帰国生徒・私費外国人留学生特別選抜では海外での学習経験を有し、国際的な視野を持つ学生を受け入れる。特別選抜の産業動物獣医師地域枠では、卒業後に産業動物獣医師に就業する意志が明確な学生を求める。なお、私費外国人留学生特別選抜では日本留学試験の成績提出を課すことで、十分な日本語能力を有することを評価した上で選抜する。

看護学部

求める学生像

本学部の学位授与方針及び教育課程編成や実施方針を踏まえ、人間性豊かで多様な関心や柔軟な思考力をもち、人の立場を思いやり援助することを志向し、保健医療福祉の発展や持続可能な社会の実現に貢献しようとする志を持つ向学心旺盛で優れた資質を有する学生を受け入れるため、次のような学生を求める。

(1) 求める学生像

- 1 論理的・創造的な思考を表現できる基礎学力を有する人
- 2 目的意識をもって積極的に学ぶ姿勢を有する人
- 3 人々の生活に深い関心を持ち、他者と喜び、苦しみ、痛みを分かち合い、生命の尊厳について理解しようとする熱意を有する人
- 4 人間性豊かで多様な関心や柔軟な思考力をもち、主体性と協調性をもって他者と協働する姿勢を有する人
- 5 看護の実践をとおして保健医療福祉の向上に寄与する意志を有する人
- 6 大学院等で、さらに高度な専門的知識と能力を身につけ、指導的立場を担う研究教育者や高度看護実践者を目指す意欲を有する人

以上に基づき、次の能力や適性を身につけた学生を選抜する。

(2) 入学前能力

- 1 意欲
価値観や思考過程の多様性をみとめながら、協調性をもって主体的に学ぶことができ、看護の実践をとおして、社会に貢献する意欲をもっていること
- 2 能力
多様な学問分野に支えられている看護に必要な知識や技術を体系的に修得でき、論理的・創造的な思考を表現できる幅広い基礎学力をもっていること
- 3 志向
人間の喜び、苦しみ、痛みを分かち合え、生命の尊厳について理解しようとする姿勢をもっていること

(3) 入学後能力

入学前の能力をさらに伸ばし、教育目標に定められた資質を身につける意欲があること

入学者選抜の基本方針

入学者選抜においては、多様な人材を選抜するために一般選抜のほか、学校推薦型選抜、私費外国人留学生特別選抜を実施する。各選抜においては、意欲、能力、志向を測定するために、学力試験、面接、出願書類等の評価を用いる。

【私費外国人留学生特別選抜】

大学で学修するための基礎学力を有していることを日本留学試験（日本語、数学、理科）、最終出身学校の成績証明書により評価する。また、日本語での思考力、判断力、表現力を有していることを個別学力検査「国語」で判断し、日本語の理解力と表現力、さらに学ぶ意欲を面接によって評価する。英文を読解し、英文で表現するための基礎的な能力を有していることを TOEFL の成績によって評価する。

生活科学部

求める学生像

生活科学部は「健康」「環境」「福祉」を基礎概念とし、生活を取り巻く3分野を研究対象とする食栄養学科、居住環境学科、人間福祉学科の3学科から構成され、分野横断的な教育研究を行う。既知の問題を効率的に解く能力だけでなく、人間生活の多様な側面を新たな視点や感性によって捉え、自ら問題を発見して解決策を見出すことのできる人材の育成を目指す。

したがって、生活科学部では、次のような学生を求めている。

- ・本学部の学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意志を有する人
- ・学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
- ・自己学習や協働を通して学問を探究し、自らの経歴を形成することができる人

食栄養学科

安全、安心な食環境の創造を通じた健康増進のために、食・栄養学をはじめ、化学、生物、物理、数学、英語などの基礎学力や、根拠に基づくプレゼンテーションや討論の技能を有し、社会や地域の食・栄養問題を解決することのできる人材の育成を目指す。

したがって、食栄養学科では、次のような学生を求めている。

- 1 食・栄養に関する学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意志を有する人
- 2 学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
- 3 自己学習や協働を通して食品栄養科学や栄養生命科学を探究し、自らの経歴を形成することができる人

居住環境学科

新たな居住環境の創造のために、居住環境学をはじめ、科学、技術、工学、数学などの基礎学力や、根拠に基づくデザインやプレゼンテーションの技能を有し、社会や地域の居住環境問題を解決することのできる人材の育成を目指す。

したがって、居住環境学科では、次のような学生を求めている。

- 1 居住環境に関する学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意志を有する人
- 2 学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
- 3 自己学習や協働を通して学問や居住空間のデザインを探究し、自らの経歴を形成することができる人

人間福祉学科

人口構造や社会構造の変化、地域社会の変貌にもなあって生起する現代の生活課題を正確に把握し、多様で深刻な個人及び地域の課題に対応できる人材の養成を目指す。

したがって、人間福祉学科では、次のような学生を求めている。

- 1 人間福祉に関する学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意思を有する人
- 2 学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
- 3 自己学習や協働を通して、人とのかかわり、人を支えることに興味をもち、福祉課題を探究し、自らの経歴を形成することができる人

入学者選抜の基本方針

多様な人材を選抜するために、一般選抜、学校推薦型選抜、国際バカロレア特別選抜、私費外国人留学生特別選抜を実施する。ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーで示した（知識・理解）、（技能）、（実践的姿勢）、（統合的な学修経験と創造的思考力）の目標を達成するための基礎が備わっていることを確認するために、次の「学力の3要素」に関する成果に基づいて入学者選抜を行う。

1 知識・技能

大学入学共通テストおよび個別学力検査等において一定の水準の成績を収めている。

2 思考力・判断力・表現力等の能力

大学入学共通テストおよび個別学力検査等において一定の水準の成績を収めている。

3 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

口述試験や志望理由書等の内容が優れている。

※各学部・学域等の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下を参照してください。

<https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/>



〔1〕 募集人員

学部・学域	学科・学類	募集人員	
現代システム科学域	知識情報システム学類	若干名	
	環境社会システム学類	若干名	
	教育福祉学類	若干名	
	心理学類	若干名	
文学部	—	若干名	
法学部	法学科	若干名	
経済学部	経済学科	若干名	
商学部	—	若干名	
理学部	数学科	若干名	
	物理学科	若干名	
	化学科	若干名	
	生物学科	若干名	
	地球学科	若干名	
	生物化学科	若干名	
工学部	航空宇宙工学科	若干名	
	海洋システム工学科	若干名	
	機械工学科	若干名	
	建築学科	若干名	
	都市学科	若干名	
	電子物理工学科	若干名	
	情報工学科	若干名	
	電気電子システム工学科	若干名	
	応用化学科	若干名	
	化学工学科	若干名	
	マテリアル工学科	若干名	
	化学バイオ工学科	若干名	
農学部	応用生物科学科	若干名	
	生命機能化学科	若干名	
	緑地環境科学科	若干名	
獣医学部	獣医学科	若干名	
看護学部	看護学科	若干名	
生活科学部	食栄養学科	均等型	若干名
		理数重点型	若干名
	居住環境学科	若干名	
	人間福祉学科	若干名	

(注) 個別学力検査等の成績により、合格者を出さない場合があります。

募集方法及び学科等の決定に関する注意事項

1 全学部・学域共通

- ・文学部、法学部、経済学部、商学部、獣医学部、看護学部は、学部単位で募集します。理学部、工学部、農学部、生活科学部は、学科単位で募集します。現代システム科学域は、学類単位で募集します。
- ・募集人員「若干名」は、募集する学部・学域等の「一般選抜前期日程」の募集人員に含みます。

2 文学部

- ・哲学歴史学科（3コース）・人間行動学科（4コース）・言語文化学科（5コース）・文化構想学科（3コース）の4学科（15コース）があります。
- ・学科・コースの決定は第1年次の1月までに行います。決定に際して、志望者多数の学科・コースでは、学科定員と標準所属者数を基準として、選抜を実施します。そのため、志望する学科・コースに進めない場合があります。また、社会調査士、認定心理士、公認心理師の資格は、指定するコースに所属する等の条件があります。
- ・森之宮キャンパスの開設により、授業を受けるキャンパスが、第1年次前期は杉本キャンパスとなり、第1年次後期からは森之宮キャンパスとなる予定です。

3 商学部

- ・学科への所属は第2年次後期からで、学科の希望調査及び決定は前期に行います。なお、志望者多数の学科では、学科定員を基準として、選抜を実施します。そのため、志望する学科に進めない場合があります。

4 生活科学部

- ・人間福祉学科の資格取得に係る実習・演習科目の履修は、学内選抜による定員制です。

〔2〕 入学者選抜方法等

1 選抜方法等

- (1) 個別学力検査、口述試験、面接、日本留学試験、TOEFL、出願書類等を総合して判定します。学部・学域等により選抜方法及び出願書類等は異なりますので、必ず 16～24 ページの『出願資格・出願要件等、選抜方法、利用教科・科目名及び配点等』、『出願に必要な日本留学試験選択科目及び成績』を確認してください。
- (2) 個別学力検査等で指定した教科・科目及び面接・口述試験を受験しなかった者は、合格判定の対象にはなりません。

(3) 2段階選抜について

ア 志願者数が文学部 25 名、商学部 20 名を超えた場合に 2 段階選抜を実施することがあります。その場合は、日本留学試験の総合得点の成績上位者から第 1 段階選抜合格者を決定し、第 1 段階選抜合格者のみが本学の個別学力検査等を受験することができます。**2 段階選抜実施の有無については、2025 年 1 月 10 日（金）に以下のとおり本学 Web サイトに掲載します。**上記以外の学部・学域等においては 2 段階選抜を実施しません。

2025 年度私費外国人留学生特別選抜 2 段階選抜実施の有無について(文学部・商学部)

大阪公立大学 重要なお知らせ ▶▶

<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>



イ 第 1 段階選抜合格者発表について

文学部及び商学部が 2 段階選抜を実施した場合、第 1 段階選抜合格者の**出願受付番号**を、以下のとおり本学 Web サイトに掲載します（**出願受付番号**については出願確認票の本人控、又はインターネット出願サイト（27 ページ Step 2 参照）で確認してください）。

2025 年度私費外国人留学生特別選抜第 1 段階選抜合格者発表について(文学部・商学部)

大阪公立大学 合格者発表 ▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/pass/



学 部	第 1 段 階 選 抜 合 格 者 発 表 日 時	Web サイト 掲 載 期 間
文学部	2025 年 2 月 6 日(木) 10:00	2025 年 2 月 6 日(木) 10:00 ～2025 年 2 月 12 日(水) 17:00
商学部	2025 年 1 月 29 日(水) 10:00	2025 年 1 月 29 日(水) 10:00 ～2025 年 2 月 4 日(火) 17:00

ウ 文学部及び商学部が 2 段階選抜を実施した場合、第 1 段階選抜不合格者には、入学検定料 30,000 円のうち 26,000 円を返還します。この返還方法等は、該当者に対して連絡します。

エ 文学部及び商学部が 2 段階選抜を実施した場合、第 1 段階選抜合格者に受験票を発行します。

2 出願資格・出願要件等、選抜方法、利用教科・科目名及び配点等

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、22～23ページに記載があります。

学部・学域等名 及び募集人員等	出願資格・出願要件等	選抜方法
現代システム科学域 知識情報システム学類 若干名 環境社会システム学類 若干名 教育福祉学類 若干名 心理学類 若干名	出願できるのは、日本国籍（日本国籍を有する二重国籍を含む）を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するものに限り、 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者 (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格している者 (3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、準備教育課程（平成18年1月12日付文部科学省告示第1号によるもの）において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び2025年3月31日までに修了見込みのもの (4) 外国において、次の資格を授与された者及び2025年3月31日までに授与される見込みの者 ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (5) 本学において前各号に準ずると認めた者。この出願要件により出願する場合は、事前に資格審査を行いますので2024年11月15日（金）までに申請してください。 ※ 志願者は「日本留学試験」（注ア）において学類が定める科目をすべて受験し、学類が定める点数以上の成績を満たす必要があります（学類が定める科目及び点数は24ページを参照）。 ※ 志願者は「TOEFL」を受験し、TOEFL iBT 45点以上を満たす必要があります。出願時までに必ず、（注イ）に記載の有効なスコア証明書を取り寄せてください。有効なスコア証明書がなければ、出願できません。	小論文、志望理由書等に基づく面接、出願書類を総合して判定します。
文学部 若干名	出願できるのは、日本国籍（日本国籍を有する二重国籍を含む）を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するものに限り、 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者 (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格している者 (3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、準備教育課程（平成18年1月12日付文部科学省告示第1号によるもの）において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び2025年3月31日までに修了見込みのもの (4) 本学において前各号に準ずると認めた者。この出願要件により出願する場合は事前に資格審査を行いますので2024年11月15日（金）までに申請してください。 ※ 志願者は「日本留学試験」（注ア）において学部が定める科目をすべて受験し、学部が定める点数以上の成績を満たす必要があります（学部が定める科目及び点数は24ページを参照）。	日本留学試験、個別学力検査（国語、外国語、作文）、口述試験、出願書類を総合して判定します。 ※ 志願者数が25名を超えた場合、2段階選抜を実施することがあります。その場合、日本留学試験の総合得点により第1段階選抜を行い、その合格者のみが本学の個別学力検査等を受験することができます。
法学部 若干名	出願できるのは、日本国籍（日本国籍を有する二重国籍を含む）を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するものに限り、 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者 (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格している者 (3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、準備教育課程（平成18年1月12日付文部科学省告示第1号によるもの）において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び2025年3月31日までに修了見込みのもの (4) 本学において前各号に準ずると認めた者。この出願要件により出願する場合は、事前に資格審査を行いますので2024年11月15日（金）までに申請してください。 ※ 志願者は「日本留学試験」（注ア）において学部が定める科目をすべて受験し、学部が定める点数以上の成績を満たす必要があります（学部が定める科目及び点数は24ページを参照）。	日本留学試験、個別学力検査（外国語、作文）、口述試験、出願書類を総合して判定します。
経済学部 若干名	出願できるのは、日本国籍（日本国籍を有する二重国籍を含む）を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するものに限り、 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者 (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格している者 (3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、準備教育課程（平成18年1月12日付文部科学省告示第1号によるもの）において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び2025年3月31日までに修了見込みのもの (4) 本学において前各号に準ずると認めた者。この出願要件により出願する場合は、事前に資格審査を行いますので2024年11月15日（金）までに申請してください。 ※ 志願者は「日本留学試験」（注ア）において学部が定める科目をすべて受験し、学部が定める点数以上の成績を満たす必要があります（学部が定める科目及び点数は24ページを参照）。	日本留学試験、個別学力検査（数学、外国語、作文）、口述試験、出願書類を総合して判定します。

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について22～23ページに記載があります。

利用教科・科目名	日本留学試験				個別学力検査等の配点等							配 合 計		
	日本語	理 科	数 学	総合 科目	計	国 語	数 学	理 科	外国語	小論文 ・ 作文	口述・ 面接		書 類	英語 外部 試験
【個別学力検査等】 その他 小論文 その他 面接 ※ 小論文は、日本語の文章や資料による出題に基づき、理解力、思考力、表現力等を問います。 ※ 日本留学試験とTOEFLは出願要件として用います。										100	50		150	150
【日本留学試験】 日本語 「読解、聴解・聴読解」 総合科目 総合科目 数学 コース1 【個別学力検査等】 国 現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語 外 英（注3）を必須として、問題の一部について 英、独、仏、中、韓・朝から1 その他 作文（日本語による） その他 口述試験	200		100	100	400	200			200	100	100		600	1,000
【日本留学試験】 日本語 「読解、聴解・聴読解」 「記述」 総合科目 総合科目 数学 コース1 【個別学力検査等】 外 英、独、仏から1 その他 作文（社会科学一般、日本語による） その他 口述試験	100		50	50	200				200	200	◎		400	600
◎口述試験は、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。														
【日本留学試験】 日本語 「読解、聴解・聴読解」 「記述」 総合科目 総合科目 数学 コース1又はコース2 【個別学力検査等】 数 数I、数II、数A、数B、数C（注1） 外 英（注3） その他 作文（日本語による） その他 口述試験	225		100	100	425		100		200	100	◎		400	825
◎口述試験は、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。														

学部・学域等名 及び募集人員等	出願資格・出願要件等	選抜方法
商学部 若干名	<p>出願できるのは、日本国籍（日本国籍を有する二重国籍を含む）を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するものに限り、</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格している者</p> <p>(3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、準備教育課程（平成18年1月12日付文部科学省告示第1号によるもの）において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び2025年3月31日までに修了見込みのもの</p> <p>(4) 本学において前各号に準ずると認めた者。この出願要件により出願する場合は、事前に資格審査を行いますので2024年11月15日（金）までに申請してください。</p> <p>※ 志願者は「日本留学試験」（注ア）において学部が定める科目をすべて受験し、学部が定める点数以上の成績を満たす必要があります（学部が定める科目及び点数は24ページを参照）。</p>	<p>日本留学試験、個別学力検査（外国語）、口述試験、出願書類を総合して判定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ 志願者数が20名を超えた場合、2段階選抜を実施することがあります。その場合、日本留学試験の総合得点により第1段階選抜を行い、その合格者のみが本学の個別学力検査等を受験することができます。</p> </div>
理学部 数学科 若干名 物理学科 若干名 化学科 若干名 生物学科 若干名 地球学科 若干名 生物化学科 若干名	<p>出願できるのは、日本国籍（日本国籍を有する二重国籍を含む）を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するものに限り、</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格している者</p> <p>(3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、準備教育課程（平成18年1月12日付文部科学省告示第1号によるもの）において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び2025年3月31日までに修了見込みのもの</p> <p>(4) 本学において前各号に準ずると認めた者。この出願要件により出願する場合は、事前に資格審査を行いますので2024年11月15日（金）までに申請してください。</p> <p>※ 志願者は「日本留学試験」（注ア）において学科が定める科目をすべて受験し、学科が定める点数以上の成績を満たす必要があります（学科が定める科目及び点数は24ページを参照）。</p>	<p>日本留学試験、個別学力検査（数学、理科、外国語）、口述試験、出願書類を総合して判定します。</p>
工学部 航空宇宙工学科 若干名 海洋システム工学科 若干名 機械工学科 若干名 建築学科 若干名 都市学科 若干名 電子理工学科 若干名 情報工学科 若干名 電気電子システム工学科 若干名 応用化学科 若干名 化学工学科 若干名 マテリアル工学科 若干名 化学バイオ工学科 若干名	<p>出願できるのは、日本国籍（日本国籍を有する二重国籍を含む）を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するものに限り、</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格している者</p> <p>(3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、準備教育課程（平成18年1月12日付文部科学省告示第1号によるもの）において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び2025年3月31日までに修了見込みのもの</p> <p>(4) 外国において、次の資格を授与された者及び2025年3月31日までに授与される見込みの者</p> <p>① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(5) 本学において前各号に準ずると認めた者。この出願要件により出願する場合は、事前に資格審査を行いますので2024年11月15日（金）までに申請してください。</p> <p>※ 志願者は「日本留学試験」（注ア）において学部が定める科目をすべて受験し、学部が定める点数以上の成績を満たす必要があります（学部が定める科目及び点数は24ページを参照）。</p>	<p>日本留学試験、個別学力検査（数学、理科、外国語）、口述試験・面接、出願書類を総合して判定します。</p>

(注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、22～23ページに記載があります。

利用教科・科目名	日本留学試験				個別学力検査等の配点等							配点 合計			
	日本語	理科	数学	総合 科目	計	国語	数学	理科	外国語	小論文 ・作文	口述・ 面接		書類	英語 外部 試験	計
【日本留学試験】 日本語 「読解、聴解・聴読解」 「記述」 理科又は総合科目 物理、化学、生物から2又は総合科目 数学 コース1又はコース2 【個別学力検査等】 外 英（注3） その他 口述試験	450	*200	200	*200	850				400		◎			400	1,250
◎口述試験は、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。															
【日本留学試験】 数学科、化学科、生物学科、地球学科、生物化学科 日本語 「読解、聴解・聴読解」 「記述」 理科 物理、化学、生物から2 数学 コース2 物理学科 日本語 「読解、聴解・聴読解」 「記述」 理科 物理と 化学、生物から1 数学 コース2 【個別学力検査等】 数学科、生物学科、地球学科、生物化学科 数 数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C（注1） 理 「物基・物」、「化基・化」、 「生基・生」、「地基・地学」 から2（注2） 外 英（注3） その他 口述試験 物理学科 数 数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C（注1） 理 「物基・物」と 「化基・化」、「生基・生」、「地基・地学」 から1 （注2） 外 英（注3） その他 口述試験 化学科 数 数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C（注1） 理 「物基・物」と「化基・化」（注2） 外 英（注3） その他 口述試験	450	200	200		850		200	200	200		200			800	1,650
【日本留学試験】 日本語 「読解、聴解・聴読解」 「記述」 理科 物理、化学 数学 コース2 【個別学力検査等】 数 数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C（注1） 理 「物基・物」と「化基・化」（注2） 外 英（注3） その他 口述試験・面接	200	100	100		400		250	200	150		100			700	1,100

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
 ・*印を付した配点は、選択教科を表します。

学部・学域等名 及び募集人員等	出願資格・出願要件等	選抜方法
農学部 応用生物科学科 若干名 生命機能化学科 若干名 緑地環境科学科 若干名	<p>出願できるのは、日本国籍（日本国籍を有する二重国籍を含む）を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するものに限ります。</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格している者</p> <p>(3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、準備教育課程（平成18年1月12日付文部科学省告示第1号によるもの）において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び2025年3月31日までに修了見込みのもの</p> <p>(4) 外国において、次の資格を授与された者及び2025年3月31日までに授与される見込みの者</p> <p>① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(5) 本学において前各号に準ずると認めた者。この出願要件により出願する場合は事前に資格審査を行いますので2024年11月15日（金）までに申請してください。</p> <p>※ 志願者は「日本留学試験」（注ア）において学部が定める科目をすべて受験し、学部が定める点数以上の成績を満たす必要があります（学部が定める科目及び点数は24ページを参照）。</p> <p>※ 志願者は「TOEFL」を受験し、学部が定める点数以上の成績を満たす必要があります（学部が定める点数は利用教科・科目名欄を参照）。出願時までには必ず、（注イ）に記載の有効なスコア証明書を取り寄せてください。有効なスコア証明書がなければ、出願できません。</p>	日本留学試験、小論文、口述試験・面接、出願書類、TOEFLを総合して判定します。
獣医学部 若干名	<p>出願できるのは、日本国籍（日本国籍を有する二重国籍を含む）を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するものに限ります。</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格している者</p> <p>(3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、準備教育課程（平成18年1月12日付文部科学省告示第1号によるもの）において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び2025年3月31日までに修了見込みのもの</p> <p>(4) 外国において、次の資格を授与された者及び2025年3月31日までに授与される見込みの者</p> <p>① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(5) 本学において前各号に準ずると認めた者。この出願要件により出願する場合は、事前に資格審査を行いますので2024年9月11日（水）までに申請してください。</p> <p>※ 志願者は「日本留学試験」（注ア）において学部が定める科目をすべて受験し、学部が定める点数以上の成績を満たす必要があります（学部が定める科目及び点数は24ページを参照）。</p> <p>※ 志願者は「TOEFL」を受験し、出願時までには必ず、（注イ）に記載の有効なスコア証明書を取り寄せてください。有効なスコア証明書がなければ、出願できません。</p>	日本留学試験、小論文、口述試験・面接、出願書類、TOEFLを総合して判定します。
看護学部 若干名	<p>出願できるのは、日本国籍（日本国籍を有する二重国籍を含む）を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するものに限ります。</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格している者</p> <p>(3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、準備教育課程（平成18年1月12日付文部科学省告示第1号によるもの）において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び2025年3月31日までに修了見込みのもの</p> <p>(4) 外国において、次の資格を授与された者及び2025年3月31日までに授与される見込みの者</p> <p>① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(5) 本学において前各号に準ずると認めた者。この出願要件により出願する場合は、事前に資格審査を行いますので2024年11月15日（金）までに申請してください。</p> <p>※ 志願者は「日本留学試験」（注ア）において学部が定める科目をすべて受験し、学部が定める点数以上の成績を満たす必要があります（学部が定める科目及び点数は24ページを参照）。</p> <p>※ 志願者は「TOEFL」を受験し、TOEFL iBT 45点以上を満たす必要があります。出願時までには必ず、（注イ）に記載の有効なスコア証明書を取り寄せてください。有効なスコア証明書がなければ、出願できません。</p>	個別学力検査（国語）、面接、出願書類を総合して判定します。

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、22～23ページに記載があります。

学部・学域等名 及び募集人員等	出願資格・出願要件等	選抜方法
生活科学部 食栄養学科 均等型 若干名 理数重点型 若干名	<p>出願できるのは、日本国籍（日本国籍を有する二重国籍を含む）を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するものに限ります。</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格している者</p> <p>(3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、準備教育課程（平成18年1月12日付文部科学省告示第1号によるもの）において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び2025年3月31日までに修了見込みのもの</p> <p>(4) 本学において前各号に準ずると認めた者。この出願要件により出願する場合は、事前に資格審査を行いますので2024年11月15日（金）までに申請してください。</p> <p>※ 志願者は「日本留学試験」（注ア）において学科が定める科目をすべて受験し、学科が定める点数以上の成績を満たす必要があります（学科が定める科目及び点数は24ページを参照）。</p>	日本留学試験、個別学力検査（数学、理科、外国語）、口述試験、出願書類を総合して判定します。
生活科学部 居住環境学科 若干名	<p>出願できるのは、日本国籍（日本国籍を有する二重国籍を含む）を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するものに限ります。</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格している者</p> <p>(3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、準備教育課程（平成18年1月12日付文部科学省告示第1号によるもの）において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び2025年3月31日までに修了見込みのもの</p> <p>(4) 本学において前各号に準ずると認めた者。この出願要件により出願する場合は、事前に資格審査を行いますので2024年11月15日（金）までに申請してください。</p> <p>※ 志願者は「日本留学試験」（注ア）において学科が定める科目をすべて受験し、学科が定める点数以上の成績を満たす必要があります（学科が定める科目及び点数は24ページを参照）。</p>	日本留学試験、個別学力検査（数学、外国語）、口述試験、出願書類を総合して判定します。
生活科学部 人間福祉学科 若干名	<p>出願できるのは、日本国籍（日本国籍を有する二重国籍を含む）を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するものに限ります。</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格している者</p> <p>(3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、準備教育課程（平成18年1月12日付文部科学省告示第1号によるもの）において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び2025年3月31日までに修了見込みのもの</p> <p>(4) 本学において前各号に準ずると認めた者。この出願要件により出願する場合は、事前に資格審査を行いますので2024年11月15日（金）までに申請してください。</p> <p>※ 志願者は「日本留学試験」（注ア）において学科が定める科目をすべて受験し、学科が定める点数以上の成績を満たす必要があります（学科が定める科目及び点数は24ページを参照）。</p>	日本留学試験、個別学力検査（国語又は数学、外国語）、口述試験、出願書類を総合して判定します。

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、22～23ページに記載があります。

【出願要件等】欄に関する注意事項について

（注ア）「日本留学試験」は、独立行政法人日本学生支援機構が、文部科学省、外務省、大学及び国内外の関係機関の協力を得て実施するものです。

- ・ 獣医学部以外の学部・学域等
2024年度第1回（6月実施）又は第2回（11月実施）のいずれかの試験を受験してください。
- ・ 獣医学部
2023年度第2回（11月実施）又は2024年度第1回（6月実施）のいずれかの試験を受験してください。

（注イ）出願までに必ず、「Test Taker Score Report」（ETS発行）を取り寄せてください。2023年4月1日以降の受験であれば有効です。

Test Date スコアのみを出願スコアとして活用します。（MyBest ™スコアは活用しません。）また、「Special Home Edition」での受験によるスコアは認めません。

利用教科・科目名	日本留学試験				個別学力検査等の配点等							配点合計		
	日本語	理科	数学	総合科目	計	国語	数学	理科	外国語	小論文・作文	口述・面接		書類	英語外部試験
【日本留学試験】 日本語 「読解、聴解・聴読解」 「記述」 理科 物理、化学、生物から2 数学 コース1又はコース2 【個別学力検査等】 数 数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C（注1） 理 「化基・化」、「生基・生」から1（注2） 外 英（注3） その他 口述試験	均等型	100	150	100	350	150	150	150		◎			450	800
◎口述試験は、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。														
【日本留学試験】 日本語 「読解、聴解・聴読解」 「記述」 理科又は総合科目 物理、化学、生物から2又は総合科目 数学 コース1又はコース2 【個別学力検査等】 数 数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C（注1） 外 英（注3） その他 口述試験	理数重点型	100	150	100	350	175	175	100		◎			450	800
◎口述試験は、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。														
【日本留学試験】 日本語 「読解、聴解・聴読解」 「記述」 理科又は総合科目 物理、化学、生物から2又は総合科目 数学 コース1又はコース2 【個別学力検査等】 数 数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C（注1） 外 英（注3） その他 口述試験		100	*50	50	*50	200	150	150		◎			300	500
◎口述試験は、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。														
【日本留学試験】 日本語 「読解、聴解・聴読解」 「記述」 理科又は総合科目 物理、化学、生物から2又は総合科目 数学 コース1 【個別学力検査等】 国 現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語 } から1 数 数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C（注1） } (注4) 外 英（注3） その他 口述試験		100	*50	50	*50	200	*150	*150	150		◎		300	500
◎口述試験は、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。														

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
 ・*印を付した配点は、選択教科・科目を表します。

【個別学力検査等】欄に関する教科・科目名の表記及び注意事項等について

教科・科目名の表記について

1 利用教科・科目名は次のように略しています。

国語 → 国
 『国語』 → 『国』

数学 → 数

『数学Ⅰ』 → 「数Ⅰ」、『数学Ⅱ』 → 「数Ⅱ」、『数学Ⅲ』 → 「数Ⅲ」、『数学A』 → 「数A」、『数学B』 → 「数B」、『数学C』 → 「数C」

理科 → 理

『物理基礎』 → 「物基」、『化学基礎』 → 「化基」、『生物基礎』 → 「生基」、『地学基礎』 → 「地基」、
 『物理』 → 「物」、『化学』 → 「化」、『生物』 → 「生」、『地学』 → 「地学」

外国語 → 外

『英語』 → 「英」、『ドイツ語』 → 「独」、『フランス語』 → 「仏」、『中国語』 → 「中」、『韓国・朝鮮語』 → 「韓・朝」

2 利用方法については、次の例のように利用科目名、利用方法を示しています。

【例】理科から2科目を選択 → 物基・物、化基・化、生基・生、地基・地学から2
 英語のみを指定 → 英

注意事項について

(注1) 数学

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲からの出題とします。

数学Bは「数列」

数学Cは[数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C]を対象とする場合は「ベクトル」を出題範囲とします。

[数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C]を対象とする場合は「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

※新教育課程と旧教育課程の共通の範囲から出題します。

(注2) 理科

「物理基礎・物理」は物理基礎及び物理の全範囲からの出題とします。

「化学基礎・化学」は化学基礎及び化学の全範囲からの出題とします。

「生物基礎・生物」は生物基礎及び生物の全範囲からの出題とします。

「地学基礎・地学」は地学基礎及び地学の全範囲からの出題とします。

(注3) 外国語

英語は[英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ]を出題範囲とします。なお、個別学力検査においてリスニングは課しません。

(注4) 「国語」及び「数学」の選択解答は、出願時に教科を選択する必要があります。

出願に必要な日本留学試験選択科目及び成績

志願者は「日本留学試験」を受験し、学部・学域等が定める点数以上の成績を満たす必要があります。

学部・学域等		出題言語	日本語		理科		数学		総合科目
			読解、聴解・聴読解	記述	選択科目		選択科目		
現代システム科学域	知識情報システム学類	日本語	○	○	△	物理、化学、生物から2科目選択	○	コース2	△
	計 270 点以上		計 190 点以上						
環境社会システム学類 教育福祉学類 心理学類	日本語	○	○	△	物理、化学、生物から2科目選択	○	コース1又はコース2	△	
		計 270 点以上		計 190 点以上					
文学部		日本語	○	○	×		○	コース1	○
			200 点以上	33 点以上			計 240 点以上		
法学部		日本語	○	○	×		○	コース1	○
			計 600 点以上						
経済学部		日本語又は英語	○	○	×		○	コース1又はコース2	○
			計 270 点以上				100 点以上		100 点以上
商学部		日本語又は英語	○	○	△	物理、化学、生物から2科目選択	○	コース1又はコース2	△
			計 270 点以上		計 270 点以上				
理学部	数学科 化学科 生物学科 地球学科 生物化学科	日本語	○	○	○	物理、化学、生物から2科目選択	○	コース2	×
	計 225 点以上		計 240 点以上						
物理学科	日本語	○	○	○	物理と化学、生物から1科目選択 計 2 科目	○	コース2	×	
		計 225 点以上		計 240 点以上					
工学部		日本語	○	○	○	物理、化学	○	コース2	×
			計 270 点以上		120 点以上		120 点以上		
農学部		日本語	○	○	○	物理、化学、生物から2科目選択	○	コース2	×
			計 270 点以上		(基準なし)				
獣医学部		日本語	○	○	○	物理、化学、生物から2科目選択	○	コース2	×
			計 250 点以上		(基準なし)				
看護学部		日本語	○	○	○	化学・生物	○	コース1又はコース2	×
			計 250 点以上		計 200 点以上				
生活科学部	食栄養学科	日本語又は英語	○	○	○	物理、化学、生物から2科目選択	○	コース1又はコース2	×
			200 点以上	25 点以上	計 240 点以上				
	居住環境学科	日本語又は英語	○	○	△	物理、化学、生物から2科目選択	○	コース1又はコース2	△
200 点以上			25 点以上	計 240 点以上					
人間福祉学科	日本語又は英語	○	○	△	物理、化学、生物から2科目選択	○	コース1	△	
		200 点以上	25 点以上	計 240 点以上					

- ※ 「日本留学試験」は、独立行政法人日本学生支援機構が、文部科学省、外務省、大学及び国内外の関係機関の協力を得て実施するものです。
- ※ ○印は、必ず受験してください。△印は、「理科」と「総合科目」のどちらかを受験してください。
- ※ 獣医学部は2023年度第2回(11月実施)又は2024年度第1回(6月実施)いずれかの試験を、それ以外の学部・学域等は2024年度第1回(6月実施)又は第2回(11月実施)のいずれかの試験を受験してください。

3 選抜期日、試験科目・時間割、試験会場

学 部	選 抜 期 日 2024年11月23日 (土・祝)		試 験 会 場
獣医学部	小論文 11:00～12:00 (60分)	口述試験・面接 13:00～ (注)	中百舌鳥 キャンパス

学 部	選 抜 期 日				試 験 会 場
	2025年2月25日 (火)			2025年2月26日 (水)	
文学部	国語 9:50～11:50 (120分)	外国語 13:10～14:50 (100分)	作文 15:40～16:40 (60分)	口述試験 13:30～ (注)	杉本 キャンパス
法学部	作文 10:20～11:50 (90分)	外国語 13:10～14:40 (90分)	口述試験 14:50～ (注)	—	
経済学部	作文 10:20～11:50 (90分)	外国語 13:10～14:50 (100分)	数学 15:40～17:10 (90分)	口述試験 10:30～ (注)	
商学部	—	外国語 13:10～14:50 (100分)	口述試験 15:10～ (注)	—	
理学部	理科 9:20～11:50 (150分)	外国語 13:10～14:50 (100分)	数学 15:40～17:40 (120分)	口述試験 13:30～ (注)	
工学部	理科 9:20～11:50 (150分)	外国語 13:10～14:50 (100分)	数学 15:40～17:40 (120分)	口述試験・面接 9:30～ (注)	中百舌鳥 キャンパス
看護学部	国語 10:20～12:20 (120分)	面接 13:10～ (注)	—	—	阿倍野 キャンパス
生活科学部 (食栄養学科)	理科 10:20～11:50 (90分)	外国語 13:10～14:50 (100分)	数学 15:40～17:10 (90分)	口述試験 10:00～ (注)	杉本 キャンパス
生活科学部 (居住環境学科)	—	外国語 13:10～14:50 (100分)	数学 15:40～17:10 (90分)	口述試験 10:00～ (注)	
生活科学部 (人間福祉学科)	国語 10:20～11:50 (90分)	外国語 13:10～14:50 (100分)	数学 15:40～17:10 (90分)	口述試験 10:00～ (注)	

(注) 口述試験、面接は筆記試験の所定の科目をすべて受験した者に対して実施します。

学部・学域	選抜期日 2025年2月28日(金)		試験会場
現代システム 科学域	小論文 9:30~11:00(90分)	面接 12:30~ (注)	中百舌鳥 キャンパス
農学部	小論文 10:30~11:30(60分)	口述試験・面接 13:00~ (注)	

(注) 口述試験、面接は筆記試験の所定の科目をすべて受験した者に対して実施します。

〔3〕 出願手続（インターネット出願）

私費外国人留学生特別選抜の出願手続はインターネット出願により行います。インターネットの出願登録と入学検定料の支払いだけでは出願手続完了にはなりません。出願書類を郵送（郵送提出期間内必着）する必要があります。

1 出願期間（日本標準時）

学部・学域	インターネット出願登録開始日時	出願書類の郵送提出期間
獣医学部	2024年10月4日(金) 10:00	2024年10月7日(月) ~2024年10月10日(木) 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】
現代システム科学域 文学部 法学部 経済学部 商学部 理学部 工学部 農学部 看護学部 生活科学部	2024年12月13日(金) 10:00	2024年12月20日(金) ~2024年12月26日(木) 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】

(注)・出願書類は本学へ直接持参しても受理できません。

- ・出願書類は、インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、出願する学部・学域等に郵送提出期間内必着で郵送してください（郵送先：裏表紙参照）。
- ・郵送提出期間後に到着したものは、受理できませんので十分注意してください。**ただし、下記の日付以前の発信局（日本国内）の消印のある「簡易書留速達郵便」に限り、期間後に到着した場合でも受理します。**

海外から送付する場合は、下記の日付以前に日本国内に到着したものに限り、期間後に到着した場合でも受理します。必ず追跡ができる方法で送付してください。

獣医学部：2024年10月8日(火) 獣医学部以外：2024年12月24日(火)


- ・郵便事情による不着については、原則考慮しませんので、余裕を持って出願してください。
- ・出願書類の到着の確認については、一切応じませんので各自郵便局等で確認してください。

2 出願方法

次の手順で出願を行ってください。



事前準備	
Step 1	<p>パソコン等の動作環境</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は、学校・図書館・知人等のパソコン等から出願してください。
	<p>印刷環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 出願に必要な書類をA4サイズ白の用紙で印刷します。自宅にプリンターがない場合は、学校・図書館・知人・コンビニエンスストア等のプリンターから印刷してください（カラー印刷推奨）。
	<p>メール設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net を受信可能なドメインとして設定してください。
	<p>出願に必要な書類</p> <ul style="list-style-type: none"> 学部・学域等の28～30ページ「5 出願書類等」を確認の上、郵送提出期間内に間に合うようあらかじめ用意してください。
	<p>封筒</p> <ul style="list-style-type: none"> 出願書類は、必ず「宛名ラベル」を貼り付けた市販の角形2号封筒（縦33.2cm×横24cm）に封入してください。「宛名ラベル」は、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから出力できます。

インターネット出願サイトにアクセス	
Step 2	<ul style="list-style-type: none"> 本学 Web サイトから、出願登録開始日時以降にインターネット出願サイトにアクセスしてください。 <p>https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/inet-apply/</p> 

出願内容の登録	
Step 3	<ul style="list-style-type: none"> インターネット出願サイトの「利用案内」、「出願手順」、「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。 出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、最終確認画面で登録した内容を必ず確認してください。

入学検定料等の支払い									
Step 4	<ul style="list-style-type: none"> インターネット出願サイトの指示に従って、次の(1)～(4)のいずれかの方法で、入学検定料(30,000円)をお支払いください。(28ページ「4 入学検定料等の支払方法」を参照) 入学検定料の他に、支払手数料(990円)が必要となります。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>(1)</th> <th>(2)</th> <th>(3)</th> <th>(4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレジットカード</td> <td>コンビニエンスストア</td> <td>ATM(ペイジー)</td> <td>ネットバンキング</td> </tr> </tbody> </table>	(1)	(2)	(3)	(4)	クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM(ペイジー)	ネットバンキング
(1)	(2)	(3)	(4)						
クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM(ペイジー)	ネットバンキング						

出願確認票及び宛名ラベルの印刷	
Step 5	<ul style="list-style-type: none"> 登録したユーザーID、パスワードにて再度インターネット出願サイトにアクセスし、A4サイズ白の用紙に片面で印刷してください（カラー印刷推奨）。

出願書類の郵送	
Step 6	<ul style="list-style-type: none"> 出願書類を簡易書留郵便(速達可)により郵送してください。(28～30ページ「5 出願書類等」を確認してください。) 郵送提出期間内(26ページ「1 出願期間」)に出願書類が到着しなければ、出願は受理できませんので注意してください。

3 受験票・受験上の注意の印刷

出願手続を完了した者には、インターネット出願サイト内にて受験票を発行します。受験票印刷開始日以降にインターネット出願サイトにアクセスし、登録したユーザー ID、パスワードを入力し、**A4サイズ白の用紙に各自で受験票を印刷し、試験当日に必ず持参してください。(受験票は郵送しません。)**

受験票印刷開始日以降になっても受験票が印刷できない場合及び受験票の記載事項に誤りがある場合は、必ず37ページ「入試に関すること」の問合せ先に申し出てください。

学部・学域等における受験上の注意は、本学Webサイトに掲載する予定です。受験にあたっては、受験上の注意を必ず印刷して内容を確認し、受験票とともに試験当日に持参してください。

学部・学域	受験票印刷開始日
獣医学部	2024年10月24日(木)
現代システム科学域	2025年1月28日(火)
法学部	
経済学部	
理学部	
工学部	
農学部	
看護学部	
生活科学部	
商学部	2025年1月29日(水)
文学部	2025年2月7日(金)

4 入学検定料等の支払方法

出願登録後に必要な料金は以下のとおりです。

- ・入学検定料 : 30,000円
- ・支払手数料 : 990円

支払方法は、以下の4種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払いのみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、セイコーマート (注) 支払方法は、現金のみです。
(3) ATM (ペイジー)	Pay-easy マークの付いている金融機関のATMで支払うことができます。
(4) ネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国1,000行以上のネットバンキングをご利用いただけます。 (注) ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

5 出願書類等

インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、次の書類を郵送提出期間内(26ページ)に郵送してください。

(注)・出願書類は、必ず「宛名ラベル」を貼り付けた市販の角形2号封筒(縦33.2cm×横24cm)に封入してください。「宛名ラベル」は、入学検定料の支払い後、インターネット出願サイトから出力できます。

- ・(*) がついた**本学所定の様式**は、以下の本学Webサイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/



(1) 学部・学域共通の提出必要書類

書類種別	注意事項
(1) 出願確認票 (大学提出用)	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズ白の用紙に印刷してください (カラー印刷推奨)。
(2) 写真 (縦4cm×横3cm) を貼り付けた写真票	本学 Web サイトからダウンロードした本学所定の様式 (*) に必要事項を記入し、写真 (上半身無帽正面で、出願日より3か月以内に撮影したもの) を貼ってください。 写真の裏に志望学部・学域、氏名を記入してください。
(3) 出願資格を証明する書類	出願資格に係る最終出身学校 (日本の高等学校相当) の卒業証明書等、16～23 ページ「2 出願資格・出願要件等」を証明する書類の原本 (卒業証書原本不可) を提出してください。コピーは認めません。 (注) 和文又は英文以外の場合、日本語又は英語に翻訳し、その内容が原本と相違ないことを証明する公的機関 (出身校、日本語学校、公証役場、大使館等) の書類を一緒に提出してください。
(4) 成績証明書等	出願資格に係る最終出身学校 (日本の高等学校相当) の成績証明書等、16～23 ページ「2 出願資格・出願要件等」を証明する書類の原本 (成績表原本不可) を提出してください。コピーは認めません。 (注) 和文又は英文以外の場合、日本語又は英語に翻訳し、その内容が原本と相違ないことを証明する公的機関 (出身校、日本語学校、公証役場、大使館等) の書類を一緒に提出してください。
(5) 国籍を証明する書類	次のいずれかを提出してください。 ・「在留カード」の両面コピー ・「住民票の写し」の原本 (市区町村が発行する国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの) ・「パスポート」 (写真・国籍・氏名が掲載されている箇所及び上陸許可 (短期滞在者のみ) が掲載されている箇所) のコピー (注) 獣医学部は2024年10月6日 (日) 以前、獣医学部以外は2024年12月19日 (木) 以前にパスポートの有効期限が切れる場合や、在留期間が満了する場合は受理できません。その場合は、国籍を証明する書類に加えて、有効期限の延長や在留資格の更新手続中であることが証明できるものを提出してください。
(6) 日本留学試験成績確認書 ※日本留学試験マイページから印刷したもの	次のいずれかを提出してください。 ・2024年度第1回 (6月実施) ・2024年度第2回 (11月実施) ただし、獣医学部については ・2023年度第2回 (11月実施) ・2024年度第1回 (6月実施) のいずれかを提出してください。

(2) 学部・学域ごとの提出必要書類

学部・学域	書類種別	注意事項
現代システム科学域	志望理由書	本学所定の様式 (*) により、志願者本人がパソコン等で日本語で作成してください。現代社会の諸問題に対する関心を含めて記載してください。なお、現代社会の諸問題に対する関心について書かれていない場合は、合否判定の対象となりません。
文学部	志望理由書	本学所定の様式 (*) により、志願者本人が作成してください (日本語で800字以内、パソコン等での作成も可、A4サイズ白の用紙片面印刷)。
法学部	志望理由書	本学所定の様式 (*) により、志願者本人が自筆で記入してください (日本語で1,000字以内)。

学部・学域	書類種別	注意事項
現代システム科学域 農学部 獣医学部 看護学部	TOEFL のスコア証明書	2023年4月1日以降の「TOEFL iBT」を受験してください。 (注) 出願までに必ず、「Test Taker Score Report」(ETS発行)を取り寄せてください。Test Date スコアのみを出願スコアとして活用します。(MyBest ™スコアは活用しません。)また、「Special Home Edition」での受験によるスコアは認めません。コピーやWeb上からダウンロードされた成績証明書は認めません。確認後、試験当日に原本を返却します。

6 出願についての注意

(1) 個別学力検査等の「受験教科」、「受験科目」の選択について

以下の学部・学科を志望する場合は、出願登録時に以下のとおり「受験教科」又は「受験科目」を選択してください。なお、出願登録完了後の変更は認められません。

- ・文学部の外国語は、「英語」を必須として、問題の一部について「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」から1科目を選択してください。
- ・法学部の外国語は、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目を選択してください。
- ・生活科学部人間福祉学科の「国語」又は「数学」は、どちらかの教科を選択してください。

(2) 試験は、指定のキャンパス（25～26 ページ）にて受験してください。

(3) 志願者情報の入力について

- ・氏名は、在留カード、住民票又はパスポートに記載のとおり入力してください。
- ・住所は、郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、37 ページ「入試に関すること」の間合せ先まで申し出るか、郵便局に転居届を提出してください。

(4) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。また、出願受理後の出願取消しは、一切認めません。

(5) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。

(6) 提出された出願書類は、一切返却しません。ただし、現代システム科学域、農学部、獣医学部、看護学部の提出された「TOEFL のスコア証明書」の原本は返却します。

(7) 出願期間内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願書類の郵送（簡易書留郵便にて郵送提出期間内に必着）の全ての手続を行う必要があります。出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しません。

(8) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。なお、電話やメールの確認不足により不利益を被ったとしても本学は責任を負いません。

(9) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。

【返還可能な事由】

- ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・重複して入学検定料を払い込んだ場合

返還対象者には、出願期間終了後に返還方法等について入試課より連絡します。

(注) 検定料の返還については、取引可能な日本国内の口座に限ります。

7 受験上・修学上の配慮について

(1) 障がい等を理由とする受験上の配慮にかかる事前相談等

障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は事前相談の手続を行ってください。

ア 相談の方法

以下「ウ 申請先及び問合せ先」に連絡の上、本学所定の申請書（原則として医師の診断書等添付）を提出することとし、必要な場合は入学志願者・保護者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談を行います。

イ 事前相談及び申請期間 インターネット出願登録開始日の1か月前まで

(注)上記期間以降においても可能な限り対応しますが、申請内容によっては、時間を要することがありますので、できるだけ早い時期に申し出てください。

ウ 申請先及び問合せ先

37 ページ「受験上の配慮に関すること」の問合せ先に連絡してください。

※メールには、受験上の配慮を希望する学部・学域等及び日中連絡がつく電話番号を明記の上、問い合わせてください。

(2) 障がい等を理由とする修学上の配慮や支援に関する相談等

修学上の合理的配慮は、入学後の申請に基づき決定します。したがって受験上の配慮内容が必ずしも修学上の合理的配慮として認められるものではありません。

ただし、受験前（出願前）も修学上の配慮や支援に関する相談はアクセシビリティセンターで受け付けますので、受験を検討するにあたり相談を希望する者は、37 ページ「修学上の配慮に関すること」の問合せ先に問い合わせてください。

※メールの場合は、アクセシビリティセンターへの相談内容、希望する学部・学域等（現時点の希望で可）を記載してお問い合わせください。

<アクセシビリティセンターWeb サイト>


<https://www.omu.ac.jp/campus-life/support/disabled/>



〔4〕 合格者発表

1 合格者発表について

合格者の受験番号を、以下のとおり本学 Web サイトに掲載します。

大阪公立大学 合格者発表 ▶▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/pass/	
---	---

学部・学域	発表日時	Web サイト掲載期間
獣医学部	2024年12月6日(金) 10:00	2024年12月6日(金) 10:00 ～2024年12月12日(木) 17:00
現代システム科学域	2025年3月9日(日) 10:00	2025年3月9日(日) 10:00 ～2025年3月15日(土) 17:00
文学部	2025年3月7日(金) 10:00	2025年3月7日(金) 10:00 ～2025年3月13日(木) 17:00
法学部		
経済学部		
商学部		
理学部		
工学部	2025年3月9日(日) 10:00	2025年3月9日(日) 10:00 ～2025年3月15日(土) 17:00
農学部		
看護学部	2025年3月7日(金) 10:00	2025年3月7日(金) 10:00 ～2025年3月13日(木) 17:00
生活科学部		

(注) 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

2 合格通知書及び入学手続書類

- (1) 合格者には「合格通知書」及び入学手続関係書類を郵送します(大学窓口での書類交付はありません)。入学手続日までの期間が短いため、海外在住の者は合格した学部・学域(37ページ「問合せ先」参照)まで申し出てください。
- (2) 合格者発表にて合格を確認したが、合格通知書及び入学手続書類が入学手続指定日前日までに到着しなかった場合は、37ページ「入学手続に関すること」の問合せ先まで申し出てください。郵便の不着又は遅配を理由とした、入学手続期間及び入学手続指定日以降の入学手続は一切認めません。

〔5〕 入学手続

1 入学手続について

獣医学部の入学手続は、「郵送」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

学部	入学手続受付期間
獣医学部	2024年12月12日(木) ～2024年12月17日(火) 【必着】

(注)・入学手続書類を郵送するまでに、入学料の納付が必要となります。

- ・入学手続書類は、上記手続受付期間内必着で郵送してください。持参による手続は行いません。
- ・上記手続受付期間内に入学手続書類が届かなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ・入学手続を完了した者でやむを得ない特別の事情により入学を辞退する者は、事前に電話連絡の上、2025年3月31日(月)12:00までに入学辞退届(所定様式)を提出してください。

獣医学部以外の入学手続は、「**来学**」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

学部・学域	入学手続指定日
現代システム科学域	2025年3月14日（金）
工学部	
農学部	
文学部	
法学部	
経済学部	
商学部	
理学部	
看護学部	
生活科学部	

(注)・入学手続時まで、入学料の納付が必要となります。

- ・入学手続書類は、入学手続指定日に必ず持参してください。郵送による手続は行いません。入学手続は代理人でも差し支えありません。
- ・上記手続指定日に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ・入学手続を完了した者でやむを得ない特別の事情により入学を辞退する者は、事前に電話連絡の上、2025年3月31日（月）12:00までに入学辞退届（所定様式）を提出してください。

2 入学許可の取消し

- (1) 出願時に虚偽の登録をした場合、又は入学試験において不正行為を行ったことが判明した場合は、入学手続完了後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (2) 高等学校等の課程を卒業（修了）できない場合又は取得予定の資格が取得できない場合は、入学手続完了後であっても入学許可を取り消します。

〔6〕 学費（入学料・授業料等）

学費（入学料・授業料等）については、現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。合格者に送付する入学手続書類に詳細を記載しますので、必ず確認してください。各問合せ先については、37ページを参照してください。

(注) 既納の納付金は還付しません。

1 入学料 「大阪府民及びその子」 282,000 円 「その他の者」 382,000 円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続を行い認定された場合に適用されます。
 対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の1年以上前（2025年4月入学者の場合、2024年4月1日以前）から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。
 必要書類：住民票（対象者全員）、戸籍全部事項証明書（必要者のみ）などの公的書類
 ※入学手続日の1か月以内に交付を受けてください。
 詳細は入学手続書類送付時に案内します。

- ・入学料は、入学手続日までに所定の振込用紙にて納付してください。
- ・入学料の納付のみでは入学手続は完了しません。納付後に入学手続を行ってください。
- ・入学手続完了後は、いかなる理由があっても入学料を返還しません。
- ・本学では入学料の納付時期の猶予は行いません。

2 授業料〔年額〕 535,800 円（入学後に納付）

- ・授業料等は年額の1/2を半期毎（前期・後期）に、ご登録いただく口座からの引落により納付していただきます。
- ・口座引落日は前期：5月27日、後期：10月27日です。引落日が金融機関の休日等にあたる場合は、

その翌営業日を引落日とします。

- ・在学中に授業料等の改定が行われた場合は、改定後の金額が適用されることがあります。
- ・授業料減免申請者は、当該年度の授業料等金額及び引落日が異なることがあります。

3 その他

- (1) 各種団体等に加入していただくために別途費用が必要です。
- (2) キャンパス間の移動に要する経費（交通費等）が必要になる場合があります。
- (3) 獣医学部における負担金
実験機器充実負担金及び実習充実負担金〔年額〕185,000円（入学後に納付）
（注）2年次以降もこれらの費用が必要です。
- (4) 個人ノートパソコン<ラップトップ>の準備（必携）

授業の履修登録や成績の閲覧、その他各種連絡事項のやり取りに加え、授業についてもシステムの使用を前提とし、極力電子ファイルを用いた資料配付、課題提出を行うなど、パソコンを活用した教育・研究を進めております。新入生の皆さんは、授業が始まるまでにノートパソコンの準備をお願いします。ノートパソコンの必要スペックは、本学のWebサイトで公開しています。

※入学年度における必要スペックは、前年度の2月上旬に掲載予定です。



<https://www.omu.ac.jp/campus-life/course/academic-calendar/index.html#pc>

- (5) 看護学部では、医療施設における実習に備え、医学的対応（各種感染症の抗体検査、予防接種等）が必要です。また、抗体検査、予防接種等にかかる費用は自己負担となります。
- (6) 一部の学部・学域・学科等では、実習費等が必要となります。金額等の詳細は、各学部・学域のオリエンテーション等でお知らせします。

〔7〕 支援制度について

外国人留学生（在留資格が「留学」の者）向けの経済支援制度、宿舍およびサポーター・チューター等の情報については、本学Webサイトに掲載しています。

外国人留学生向け情報 / For International Students

<https://www.omu.ac.jp/campus-life/information/>



〔8〕 その他

1 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報は、入学者選抜の実施、入学者の受入れ準備、統計資料等の作成、個人別成績の情報提供以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。
- (2) 本学の業務を行うために、個人情報の電算処理を外部に委託する場合には、個人情報の保護に関する法律の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

2 個人別成績の情報提供について

2025年度私費外国人留学生特別選抜の個人別成績について、以下のとおり提供します。

- (1) 提供内容
日本留学試験・個別学力検査等の科目別得点（配点公表分のみ）
- (2) 提供期間
2025年5月8日（木）10:00から2025年6月6日（金）15:00まで
- (3) 提供対象者
受験者本人に限ります。

(4) 請求方法

以下 URL にアクセスし、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

成績開示 ▶▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/score/



ア 個人別成績の情報提供を希望する場合、出願時に必ず4桁の成績開示用暗証番号を登録してください。**成績開示用暗証番号は、出願登録時にしか登録できませんので、注意してください。**成績開示用暗証番号は出願確認票（本人控）に印刷されますが、取扱いに十分注意してください。

イ 成績開示用のパスワードは、出願時に登録した成績開示用暗証番号に続いて受験番号を入力してください。

例えば、出願時に登録した成績開示用暗証番号が「1230」、受験番号が「987654」の場合は「1230987654」となります。

ウ 本人確認として生年月日の入力が必要です。

3 過去問題について

過去の入試問題の詳細については、以下の本学 Web サイトに掲載しています。

特別選抜 過去問題 ▶▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/past-eq/



4 注意事項

- (1) 入学後の授業等については、日本人学生と同様に取り扱い、講義は基本的に日本語で行いますので、講義を受けるための日本語能力が必要です。
- (2) 「2023 年度及び 2024 年度日本留学試験」の成績について、コンピューターネットワークを利用し、入学試験に関する個人情報の送受信を独立行政法人日本学生支援機構と行います。
- (3) 大規模な自然災害・電車の遅延等により、入学試験が予定どおり実施できない場合、本学 Web サイトに情報を掲載しますので、確認してください。

大阪公立大学 緊急のお知らせ ▶▶▶

<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>



試験会場交通アクセス

■ 杉本キャンパス

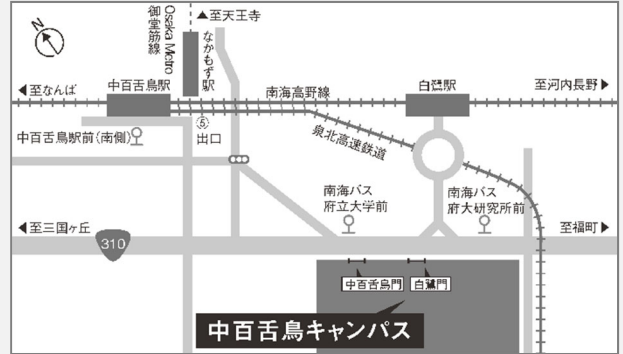
〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3番138号



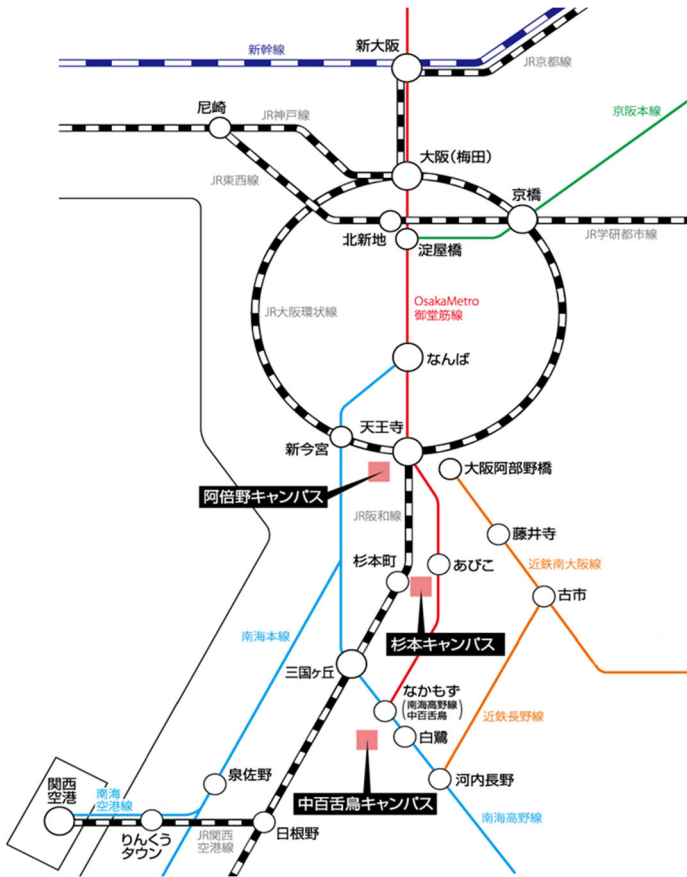
- ・ JR 阪和線「杉本町駅」下車、東口からすぐ
- ・ Osaka Metro 御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口から南西へ徒歩約15分

■ 中百舌鳥キャンパス

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号



- ・ 南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ徒歩約7分
- ・ 南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ徒歩約13分
- ・ Osaka Metro 御堂筋線「なかもず駅」下車、5号出口から南東へ徒歩約13分



■ 阿倍野キャンパス

〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目5番17号



- ・ JR・Osaka Metro「天王寺駅」又は近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」下車、西へ徒歩約10分

問合せ先・各キャンパス窓口

お問い合わせの前に、入試に関する Q&A も確認してください。

大阪公立大学 入試に関する Q&A ▶▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/qa/



【現代システム科学域・工学部・農学部・獣医学部】

事 項	問 合 せ 先	電話番号/E-mail
入試・受験上の配慮及び入学 手続・入学料に関する事 こと	入試課 (中百舌鳥キャンパス)	072-254-9202 gr-nyu-ask2@omu.ac.jp
修学上の配慮に関する事 こと	アクセシビリティセンター (中百舌鳥キャンパス)	072-254-9867 gr-gks-ac@omu.ac.jp
	アクセシビリティセンター (杉本キャンパス) ※工学部 (建築学科、都市学科、化学バイオ工学科のみ)	06-6605-3650 gr-gks-ac@omu.ac.jp
授業料等に関する事 こと	学生課 (杉本キャンパス)	06-6605-2054 gr-gks-gakuhi@omu.ac.jp
支援制度に関する事 こと	学生課 (中百舌鳥キャンパス)	072-254-6243 gr-gks-intlstu@omu.ac.jp

【文学部】

事 項	問 合 せ 先	電話番号/E-mail
入試・受験上の配慮に関する 事 こと	入試課 (杉本キャンパス)	06-6605-2141 gr-nyu-ask2@omu.ac.jp
入学手続に関する事 こと	文学部 (杉本キャンパス)	06-6605-2353 gr-kyik-lit@omu.ac.jp
修学上の配慮に関する事 こと	アクセシビリティセンター (杉本キャンパス)	06-6605-3650 gr-gks-ac@omu.ac.jp
入学料・授業料に関する事 こと	学生課 (杉本キャンパス)	06-6605-2054 gr-gks-gakuhi@omu.ac.jp
支援制度に関する事 こと		06-6605-3608 gr-gks-intlstu@omu.ac.jp

【法学部・経済学部・商学部・理学部・生活科学部】

事 項	問 合 せ 先	電話番号/E-mail
入試・受験上の配慮及び入学 手続に関する事 こと	入試課 (杉本キャンパス)	06-6605-2141 gr-nyu-ask2@omu.ac.jp
修学上の配慮に関する事 こと	アクセシビリティセンター (杉本キャンパス)	06-6605-3650 gr-gks-ac@omu.ac.jp
入学料・授業料に関する事 こと	学生課 (杉本キャンパス)	06-6605-2054 gr-gks-gakuhi@omu.ac.jp
支援制度に関する事 こと		06-6605-3608 gr-gks-intlstu@omu.ac.jp

【看護学部】

事 項	問 合 せ 先	電話番号/E-mail
入試・入学手続に関する事 こと	看護学部 (阿倍野キャンパス)	06-6645-3511 gr-nurs-admission@omu.ac.jp
受験上の配慮に関する事 こと	入試課 (杉本キャンパス)	06-6605-2141 gr-nyu-ask2@omu.ac.jp
修学上の配慮に関する事 こと	アクセシビリティセンター (中百舌鳥キャンパス)	072-254-9867 gr-gks-ac@omu.ac.jp
入学料・授業料に関する事 こと	学生課 (杉本キャンパス)	06-6605-2054 gr-gks-gakuhi@omu.ac.jp
支援制度に関する事 こと	学生課 (中百舌鳥キャンパス)	072-254-6243 gr-gks-intlstu@omu.ac.jp

受付日時：月～金曜日（祝日及び休業日を除く） 9:00～17:00

【郵送先】

学部・学域	郵送先
現代システム科学域	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 入試課 (中百舌鳥キャンパス)
工学部	
農学部	
獣医学部	
法学部	〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪公立大学 入試課 (杉本キャンパス)
経済学部	
商学部	
理学部	
生活科学部	
文学部	〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪公立大学 文学部教務担当 (学生サポートセンター1階)
看護学部	〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目5番17号 大阪公立大学 看護学部事務室 (阿倍野キャンパス)

Web サイト

最新の情報は、Web サイトから確認してください。

大阪公立大学 入試情報サイト

<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>

